# 清須市生涯学習に関する
# 市民意識調査
## 【結果報告書】

平成 25 年 12 月
清須市

# 【目次】

Ⅰ　調査概要 ........ 1

1．調査目的 ........ 2

2．調査の概要 ........ 2

3．報告書の見方 ........ 3

Ⅱ　結果概要 ........ 5

1　生涯学習の現状について ........ 6

2　生涯学習の成果の生かし方について ........ 7

3　生涯学習の情報について ........ 7

4　生涯学習の今後の意向について ........ 7

Ⅲ　調査結果 ........ 9

1　あなた自身について ........ 10

2　生涯学習の現状について ........ 12

3　生涯学習の成果の生かし方について ........ 25

4　生涯学習の情報について ........ 29

5　生涯学習の今後の意向について ........ 32

Ⅳ　自由回答 ........ 39

Ⅴ　調査票 ........ 47

# Ⅰ　調査概要

# 1．調査目的

本調査は、平成 26 年度に策定する「清須市生涯学習推進基本計画（仮）」の基礎資料とするため実施しました。

# 2．調査の概要

・調査地域　　：清須市全域
・調査対象者　：2,000 人
・抽出方法　　：満 20 歳以上の男女
・調査期間　　：平成 25 年7月5日～8月2日
・調査方法　　：郵送配布・回収
・調査実施機関：（株）ジャパンインターナショナル総合研究所
・回収結果　　：下表参照

| 配布数<br>（A） | 回収数<br>（＝C＋D） | 有効回収数<br>（C） | 無効回収数<br>（D） | 有効回収率<br>（＝C／A） |
|---|---|---|---|---|
| 2,000 | 716 | 716 | 0 | 35.8% |

# 3. 報告書の見方

●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の読み取り文、グラフ、表においても反映しています。

●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

●図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●図表中の「N（number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

●クロス表中において、項目ごとの「グレーの網掛け＋太枠」は第一位、「グレーの網掛け」は第二位を表しています。

●グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま、記載しています。

●本調査は、「清須市男女共同参画に関する市民意識調査」と同一調査票で実施しました。そのため、「Ⅲ．調査結果」のＰ.12 は「問 24」からはじまっています。また、「Ⅳ．調査票」（P.47～）には、男女共同参画に関する設問も掲載しています。

# Ⅱ　結果概要

# 1　生涯学習の現状について

## （1）「生涯学習」の言葉の認知度について

○全体では、「聞いたことがあり、内容はよくわからない」が６割弱を占めており、「聞いたことがあり、内容も理解している」が３割弱に留まっています。

○年齢別では、20 代や 30 代で「聞いたことがあり、内容も理解している」が約２割と、他の年代と比較して低くなっています。

## （2）生涯学習の実施状況

○生涯学習の実施状況について、全体では、「（この１年くらい）していない」が突出しています。

○生涯学習の実施内容について、男女ともに「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が高い傾向にある一方で、女性では「趣味的なもの（音楽、芸術、華道、舞踏、書道など）」が男性と比較して高く、男性では「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」が女性と比較して高いなど、性別で差が出ています。

## （3）生涯学習を実施していない人の状況

○生涯学習をしていない理由について、「仕事が忙しくて時間がない」「家事・育児などが忙しくて時間がない」が高くなっており、日常生活の中での忙しさから取り組めていない人が多くなっていることがうかがえます。

○年齢別では、40 代で「仕事が忙しくて時間がない」が他と比較して高く、働き盛りの世代で参加のが特に難しくなっていることがうかがえます。

## （4）生涯学習を実施している人の状況

○生涯学習をしている場所や形態について、全体では「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間講座や教室、通信教育」が最も高くなっています。

○生涯学習を行うにあたっての困りごとについて、男女ともに「仕事が忙しくて時間がない」「費用がかかる」「身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない」が高い傾向にあります。

## （5）生涯学習関連施設の認知度・利用状況

○生涯学習関連施設の認知度は、「アルコ清洲」が最も高くなっています。

○生涯学習関連施設の利用意向は、「清須市立図書館」が最も高くなっています。「アルコ清洲」「カルチバ新川」では、認知度が約５割となっている一方で、利用状況は約２割にとどまっています。

○生涯学習関連施設を利用する上での問題点について、「使える時間帯が希望と合わない」が最も高くなっています。生涯学習を行うにあたっての困りごとで「身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない」が多くあげられていることからも、施設の利便性を高めていく必要があることがうかがえます。

# 2　生涯学習の成果の生かし方について

## （1）生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方

○全体では、「自分の人生がより豊かになっている」「自分の健康の維持・増進に役立っている」が高く、自分自身の生活の質の向上に生かしている人が多くなっています。

○男女別では、女性で「家庭・日常の生活に生かしている」が男性と比較して高く、男性で「仕事や就職の上で生かしている」が女性と比較して高いなど、性別で差が出ています。

○生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために生かすべきかについて、『生かすべきである（「生かすべきである」と「どちらかといえば、生かすべきである」を合わせた割合）』が半数を占めています。

# 3　生涯学習の情報について

## （1）生涯学習の情報について

○全体では「市や県の広報紙」が最も高くなっています。男性では「特にない」「得る手段がわからない」が合わせて約３割となっており、女性と比較して生涯学習に関する情報が得にくい状況にあることがうかがえます。

○どのような生涯学習に関する情報を望むかについて、「講座・教室の情報」が最も高く、次いで「イベント情報（講演会・展覧会など）」が高くなっています。

# 4　生涯学習の今後の意向について

## （1）今後の生涯学習の実施意向

○全体では、『してみたい』（「してみたいと思う」と「どちらかといえば、してみたいと思う」を合わせた割合）が約６割を占めています。

○男女別では、『してみたい』で女性が男性を 13.5 ポイント上回っています。

○年齢別では、20 代～40 代で『してみたい』が７割～８割を占めており、現在実施している割合の低い 40 代でも、今後の実施意向は高いことがうかがえます。

○増えてほしい生涯学習の機会について、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踏、書道など）」「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が高くなっています。また、「家庭生活の役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」では女性が男性と比較して高く、「まちづくり・地域づくりに関すること」では男性が女性と比較して高くなっているなど、性別で差がみられます。

## （２）生涯学習をもっと盛んにしていくために市に望む施策

○全体では、「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など）」が 45.5％と突出して高く、次いで「生涯学習を始める人への支援の充実（地域デビュー歓迎会、サークル体験など）」が 20.3％、「情報の一元化など、生涯学習に関する情報提供の充実」が 20.0％となっています。

# Ⅲ　調査結果

# 1　あなた自身について

## （1）性別　　〈単数回答〉

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | 716 | 人 | ( | 100.0 | %) |
| 女性 | 390 | 人 | ( | 54.5 | %) |
| 男性 | 294 | 人 | ( | 41.1 | %) |
| 不明・無回答 | 32 | 人 | ( | 4.5 | %) |

## （2）年齢　　〈単数回答〉

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | 716 | 人 | ( | 100.0 | %) |
| 20 代 | 82 | 人 | ( | 11.5 | %) |
| 30 代 | 111 | 人 | ( | 15.5 | %) |
| 40 代 | 113 | 人 | ( | 15.8 | %) |
| 50 代 | 106 | 人 | ( | 14.8 | %) |
| 60 代 | 137 | 人 | ( | 19.1 | %) |
| 70 歳以上 | 159 | 人 | ( | 22.2 | %) |
| 不明・無回答 | 8 | 人 | ( | 1.1 | %) |

## （3）職業　　〈単数回答〉

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | 716 | 人 | ( | 100.0 | %) |
| 会社員・公務員（会社役員等を含む） | 214 | 人 | ( | 29.9 | %) |
| 派遣・契約社員 | 16 | 人 | ( | 2.2 | %) |
| パート・アルバイト | 108 | 人 | ( | 15.1 | %) |
| 自営業・農漁業（家族従業者を含む） | 51 | 人 | ( | 7.1 | %) |
| 自由業（医師・弁護士・会計士・作家・芸術家など） | 7 | 人 | ( | 1.0 | %) |
| 家事専業（主婦・主夫など） | 133 | 人 | ( | 18.6 | %) |
| 無職 | 150 | 人 | ( | 20.9 | %) |
| 学生 | 14 | 人 | ( | 2.0 | %) |
| その他 | 17 | 人 | ( | 2.4 | %) |
| 不明・無回答 | 6 | 人 | ( | 0.8 | %) |

## （4）婚姻状況

〈単数回答〉

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | 716 | 人 | （ | 100.0 | %） |
| 既婚（事実婚を含む） | 509 | 人 | （ | 71.1 | %） |
| 別離（離別・死別） | 78 | 人 | （ | 10.9 | %） |
| 未婚 | 109 | 人 | （ | 15.2 | %） |
| 不明・無回答 | 20 | 人 | （ | 2.8 | %） |

## （4－1）共働きをしているか ※事実婚を含む既婚者のみの回答

〈単数回答〉

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | 509 | 人 | （ | 100.0 | %） |
| している | 209 | 人 | （ | 41.1 | %） |
| していない | 251 | 人 | （ | 49.3 | %） |
| 不明・無回答 | 49 | 人 | （ | 9.6 | %） |

## （5）子どもの有無

〈単数回答〉

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | 716 | 人 | （ | 100.0 | %） |
| 同居している子どもがいる | 394 | 人 | （ | 55.0 | %） |
| 子どもはいるが同居していない | 147 | 人 | （ | 20.5 | %） |
| 子どもはいない | 170 | 人 | （ | 23.7 | %） |
| 不明・無回答 | 5 | 人 | （ | 0.7 | %） |

## （6）家族構成

〈単数回答〉

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | 716 | 人 | （ | 100.0 | %） |
| 単身世帯（1人） | 41 | 人 | （ | 5.7 | %） |
| 1世代世帯（夫婦のみ） | 170 | 人 | （ | 23.7 | %） |
| 2世代世帯（親と子） | 371 | 人 | （ | 51.8 | %） |
| 3世代世帯（親と子と孫） | 104 | 人 | （ | 14.5 | %） |
| その他 | 21 | 人 | （ | 2.9 | %） |
| 不明・無回答 | 9 | 人 | （ | 1.3 | %） |

## （7）お住まいの小学校区

〈単数回答〉

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | 716 | 人 | （ | 100.0 | %） |
| 西枇杷島小学校区 | 135 | 人 | （ | 18.9 | %） |
| 古城小学校区 | 56 | 人 | （ | 7.8 | %） |
| 清洲小学校区 | 152 | 人 | （ | 21.2 | %） |
| 清洲東小学校区 | 69 | 人 | （ | 9.6 | %） |
| 新川小学校区 | 88 | 人 | （ | 12.3 | %） |
| 星の宮小学校区 | 45 | 人 | （ | 6.3 | %） |
| 桃栄小学校区 | 66 | 人 | （ | 9.2 | %） |
| 春日小学校区 | 68 | 人 | （ | 9.5 | %） |
| 不明 | 32 | 人 | （ | 4.5 | %） |
| 不明・無回答 | 5 | 人 | （ | 0.7 | %） |

# 2 生涯学習の現状について

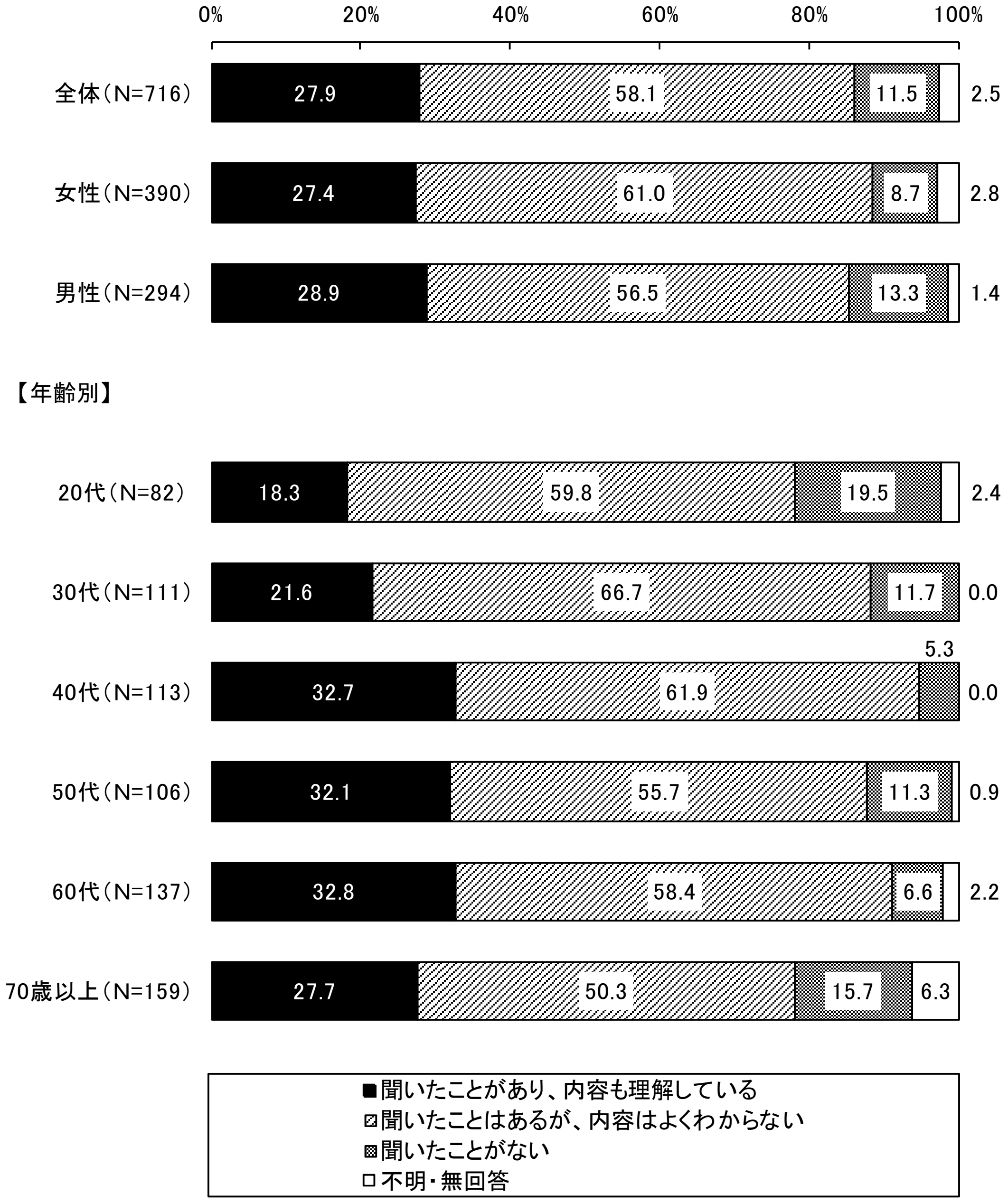
## 【問 24】あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。

「生涯学習」という言葉を聞いたことがあるかについて、全体では「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が 58.1%と最も高くなっています。

男女別では、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が女性で 61.0%、男性で 56.5%となっています。

年齢別では、すべての年代で「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が最も高くなっています。

〈単数回答〉



## 【問 25】あなたは、この１年くらいの間に、次に示す生涯学習をしたことがありますか。

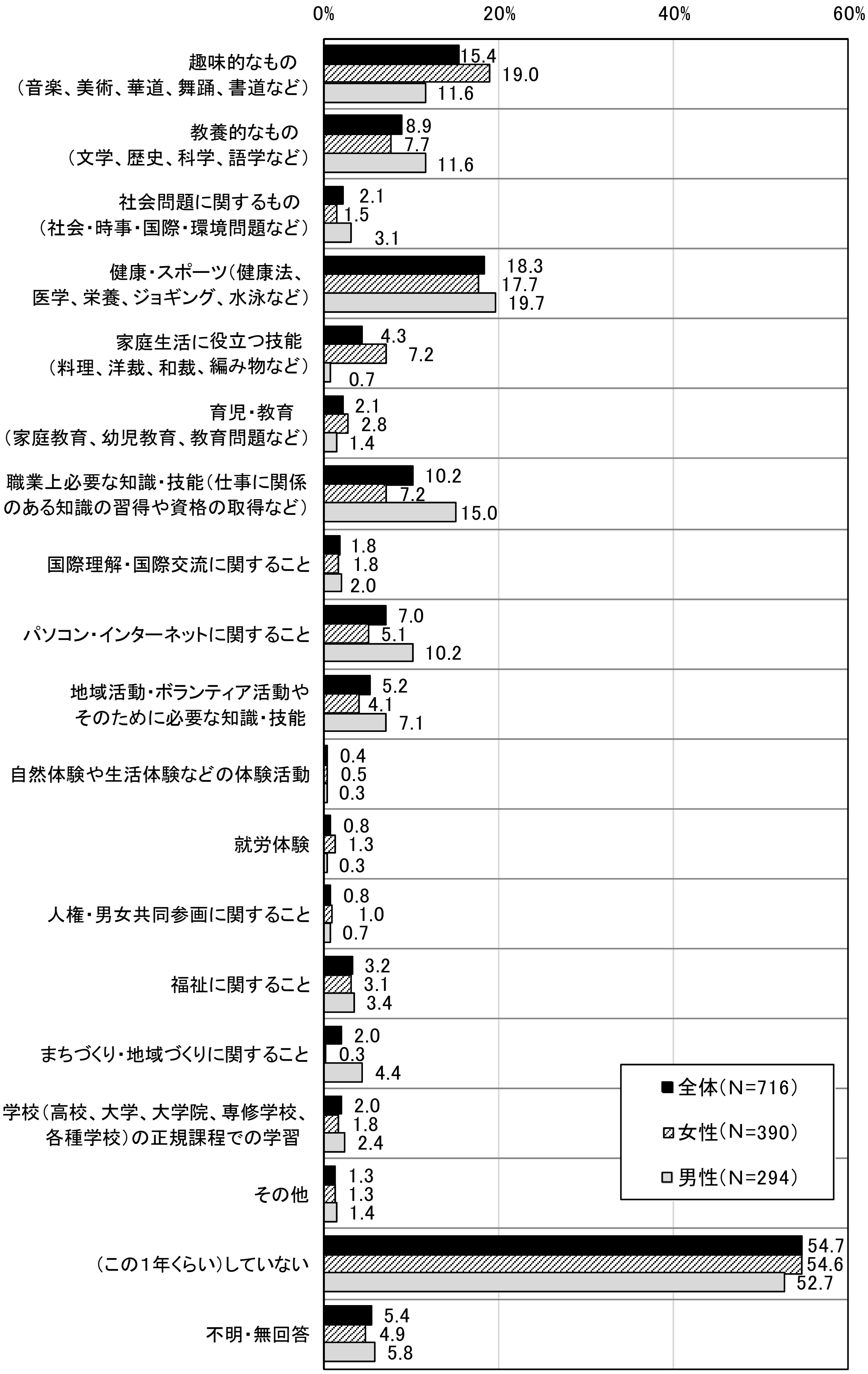
生涯学習をしたことがあるかについて、全体では「(この１年くらい) していない」が 54.7%と最も高くなっています。したことのある生涯学習の内容では、「健康・スポーツ (健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)」が最も高くなっています。

男女別では、「(この１年くらい) していない」が女性で 54.6%、男性で 52.7%と最も高くなっています。したことのある生涯学習の内容では、女性で「趣味的なもの (音楽、美術、華道、舞踊、書道など)」が 19.0%、男性で「健康・スポーツ (健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)」が 19.7%と高くなっています。男性では女性と比較して「職業上必要な知識・技能 (仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)」が高くなっています。

年齢別では、すべての年代で「(この１年くらい) していない」が最も高く、特に 40 代で他の年代と比較して高くなています。

〈複数回答〉

※グラフは次ページに掲載


0%
20%
40%
60%
趣味的なもの
（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）
15.4
19.0
11.6
教養的なもの
（文学、歴史、科学、語学など）
8.9
7.7
11.6
社会問題に関するもの
（社会・時事・国際・環境問題など）
2.1
1.5
3.1
健康・スポーツ（健康法、
医学、栄養、ジョギング、水泳など）
18.3
17.7
19.7
家庭生活に役立つ技能
（料理、洋裁、和裁、編み物など）
4.3
7.2
0.7
育児・教育
（家庭教育、幼児教育、教育問題など）
2.1
2.8
1.4
職業上必要な知識・技能（仕事に関係
のある知識の習得や資格の取得など）
10.2
7.2
15.0
国際理解・国際交流に関すること
1.8
1.8
2.0
パソコン・インターネットに関すること
7.0
5.1
10.2
地域活動・ボランティア活動や
そのために必要な知識・技能
5.2
4.1
7.1
自然体験や生活体験などの体験活動
0.4
0.5
0.3
就労体験
0.8
1.3
0.3
人権・男女共同参画に関すること
0.8
1.0
0.7
福祉に関すること
3.2
3.1
3.4
まちづくり・地域づくりに関すること
2.0
0.3
4.4
学校（高校、大学、大学院、専修学校、
各種学校）の正規課程での学習
2.0
1.8
2.4
その他
1.3
1.3
1.4
（この１年くらい）していない
54.7
54.6
52.7
不明・無回答
5.4
4.9
5.8
全体（N=716）
女性（N=390）
男性（N=294）

■問 25―１のクロス集計（年齢別）

単位：%

| | 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など） | 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など） | 社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境問題など） | 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など） | 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など） | 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など） | 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など） | 国際理解・国際交流に関すること | パソコン・インターネットに関すること | 地域活動・ボランティア活動やそのために必要な知識・技能 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | | | | | |
| 20 代（N=37） | 15.4 | 8.9 | 2.1 | 18.3 | 4.3 | 2.1 | 10.2 | 1.8 | 7.0 | 5.2 |
| 30 代（N=68） | 20.7 | 14.6 | 2.4 | 19.5 | 6.1 | 8.5 | 15.9 | 3.7 | 12.2 | 1.2 |
| 40 代（N=61） | 12.6 | 5.4 | 2.7 | 11.7 | 1.8 | 1.8 | 13.5 | 0.9 | 4.5 | - |
| 50 代（N=63） | 15.0 | 9.7 | 2.7 | 23.9 | 4.4 | 2.7 | 15.0 | 0.9 | 8.0 | 4.4 |
| 60 代（N=72） | 7.5 | 8.5 | 1.9 | 20.8 | 3.8 | - | 11.3 | 0.9 | 7.5 | 3.8 |
| 70 歳以上（N=89） | 19.7 | 9.5 | 2.9 | 20.4 | 6.6 | 0.7 | 7.3 | 0.7 | 8.0 | 12.4 |

| | 自然体験や生活体験などの体験活動 | 就労体験 | 人権・男女共同参画に関すること | 福祉に関すること | まちづくり・地域づくりに関すること | 学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の正規課程での学習 | その他 | （この1年くらい）していない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | | | | |
| 20 代（N=37） | 0.4 | 0.8 | 0.8 | 3.2 | 2.0 | 2.0 | 1.3 | 54.7 | 5.4 |
| 30 代（N=68） | 2.4 | 2.4 | 1.2 | 1.2 | 0.0 | 12.2 | 0.0 | 45.1 | 2.4 |
| 40 代（N=61） | 0.0 | 0.9 | 0.9 | 0.0 | 1.8 | 1.8 | 0.9 | 61.3 | 3.6 |
| 50 代（N=63） | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 0.9 | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 54.0 | 0.9 |
| 60 代（N=72） | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | 1.9 | 59.4 | 3.8 |
| 70 歳以上（N=89） | 0.7 | 1.5 | 0.0 | 6.6 | 3.6 | 0.7 | 1.5 | 52.6 | 5.8 |

## ＜問 25 で「18（この1年くらい）していない」と答えた方におたずねします＞

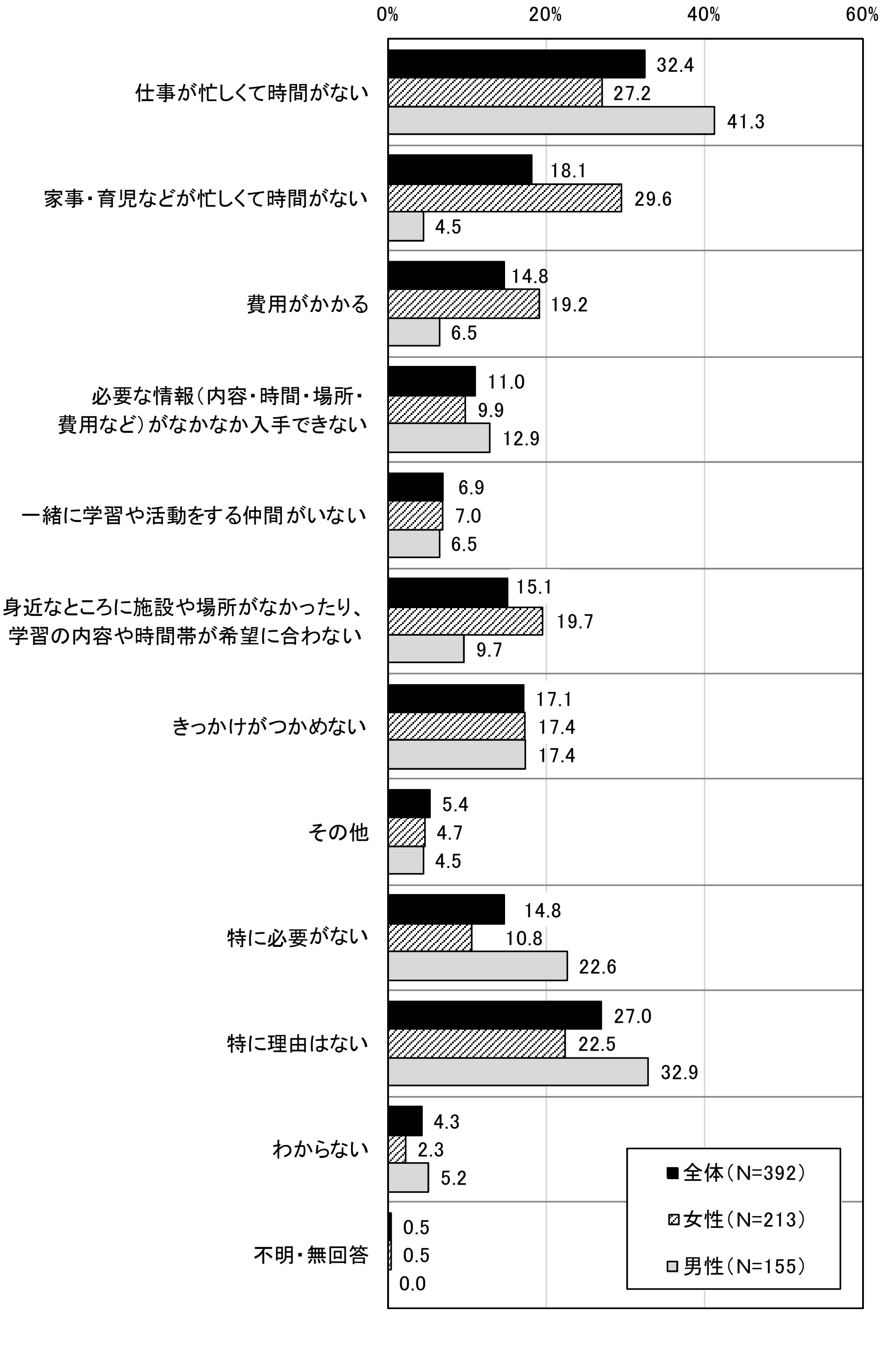
## 【問 25－1】生涯学習をしていない理由は何ですか。

生涯学習をしていない理由について、全体では「仕事が忙しくて時間がない」が 32.4%と最も高くなっています。

男女別では、「仕事が忙しくて時間がない」が男性で 41.3%と、女性で 27.2%を 14.1 ポイント上回っています。

年齢別では、40 代で「仕事が忙しくて時間がない」が他の年代と比較して高くなっています。

〈複数回答〉



■問25―１のクロス集計（年齢別）

単位:％

| | 仕事が忙しくて時間がない | 家事・育児などが忙しくて時間がない | 費用がかかる | 必要な情報（内容・時間・場所・費用など）がなかなか入手できない | 一緒に学習や活動をする仲間がいない | 身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | |
| 20代(N=37) | 29.7 | 18.9 | 24.3 | 18.9 | 5.4 | 21.6 |
| 30代(N=68) | 32.4 | 47.1 | 25.0 | 10.3 | 7.4 | 13.2 |
| 40代(N=61) | 59.0 | 34.4 | 24.6 | 11.5 | 9.8 | 21.3 |
| 50代(N=63) | 39.7 | 6.3 | 7.9 | 11.1 | 4.8 | 17.5 |
| 60代(N=72) | 25.0 | 8.3 | 2.8 | 8.3 | 6.9 | 16.7 |
| 70歳以上(N=89) | 15.7 | 1.1 | 11.2 | 10.1 | 6.7 | 6.7 |

| | きっかけがつかめない | その他 | 特に必要がない | 特に理由はない | わからない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | |
| 20代(N=37) | 24.3 | - | 5.4 | 21.6 | 8.1 | - |
| 30代(N=68) | 13.2 | 1.5 | 10.3 | 17.6 | 5.9 | - |
| 40代(N=61) | 14.8 | 1.6 | 9.8 | 16.4 | - | - |
| 50代(N=63) | 14.3 | 6.3 | 20.6 | 34.9 | 1.6 | - |
| 60代(N=72) | 22.2 | 1.4 | 23.6 | 30.6 | 1.4 | - |
| 70歳以上(N=89) | 16.9 | 15.7 | 14.6 | 33.7 | 9.0 | 2.2 |

## ＜問 25 で「１」～「17」と答えた方（１年間で生涯学習をしたことがある方）におたずねします＞

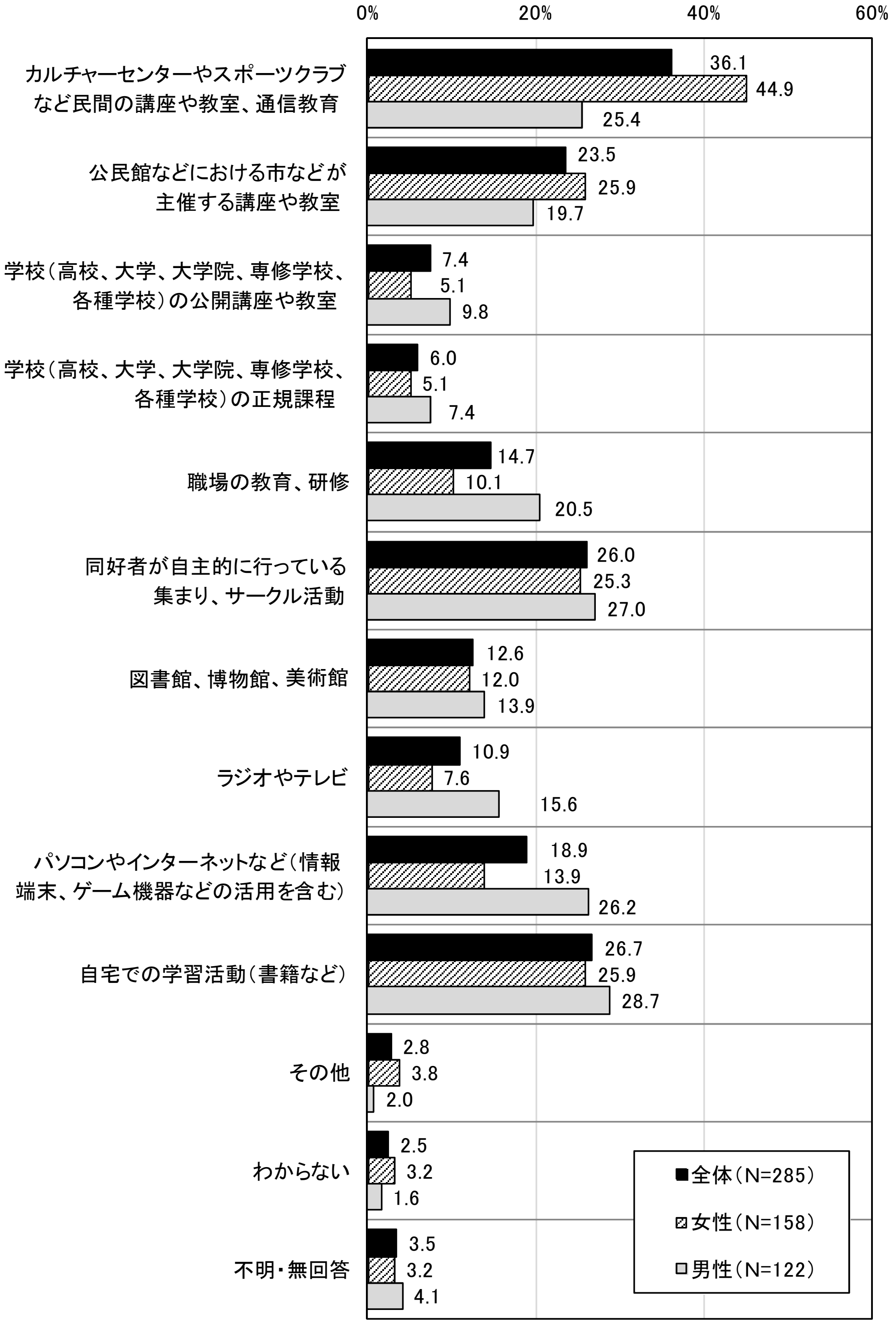
## 【問 25－２】どのような場所や形態で生涯学習をしたことがありますか。

生涯学習をした場所や形態について、全体では「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育」が 36.1％と最も高くなっています。

男女別では、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育」が女性で 44.9％と、男性の 25.4％より 19.5 ポイント上回っています。

年齢別では、20 代、30 代で「自宅での学習活動（書籍など）」が、40 代から 60 代で「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育」が最も高くなっています。

〈複数回答〉



■問25－２のクロス集計（年齢別）

単位：%

| | カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育 | 公民館などにおける市などが主催する講座や教室 | 学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の公開講座や教室 | 学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の正規課程 | 職場の教育、研修 | 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動 | 図書館、博物館、美術館 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | | |
| 20代(N=43) | 18.6 | 9.3 | 16.3 | 32.6 | 20.9 | 20.9 | 23.3 |
| 30代(N=39) | 33.3 | 10.3 | 5.1 | 2.6 | 25.6 | 15.4 | - |
| 40代(N=51) | 47.1 | 21.6 | 3.9 | - | 25.5 | 11.8 | 9.8 |
| 50代(N=39) | 43.6 | 17.9 | 10.3 | - | 2.6 | 25.6 | 12.8 |
| 60代(N=57) | 42.1 | 29.8 | 5.3 | 3.5 | 12.3 | 38.6 | 14.0 |
| 70歳以上(N=53) | 32.1 | 45.3 | 5.7 | - | 1.9 | 39.6 | 15.1 |

| | ラジオやテレビ | パソコンやインターネットなど（情報端末、ゲーム機器などの活用を含む） | 自宅での学習活動（書籍など） | その他 | わからない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | |
| 20代(N=43) | 18.6 | 27.9 | 27.9 | 2.3 | - | - |
| 30代(N=39) | 2.6 | 20.5 | 38.5 | 7.7 | 2.6 | - |
| 40代(N=51) | 9.8 | 23.5 | 31.4 | 2.0 | - | 3.9 |
| 50代(N=39) | 12.8 | 23.1 | 33.3 | 7.7 | 2.6 | 5.1 |
| 60代(N=57) | 8.8 | 15.8 | 12.3 | - | 1.8 | 8.8 |
| 70歳以上(N=53) | 13.2 | 7.5 | 20.8 | - | 5.7 | 1.9 |

**＜問25で「１」～「17」と答えた方（１年間で生涯学習をしたことがある方）におたずねします＞**

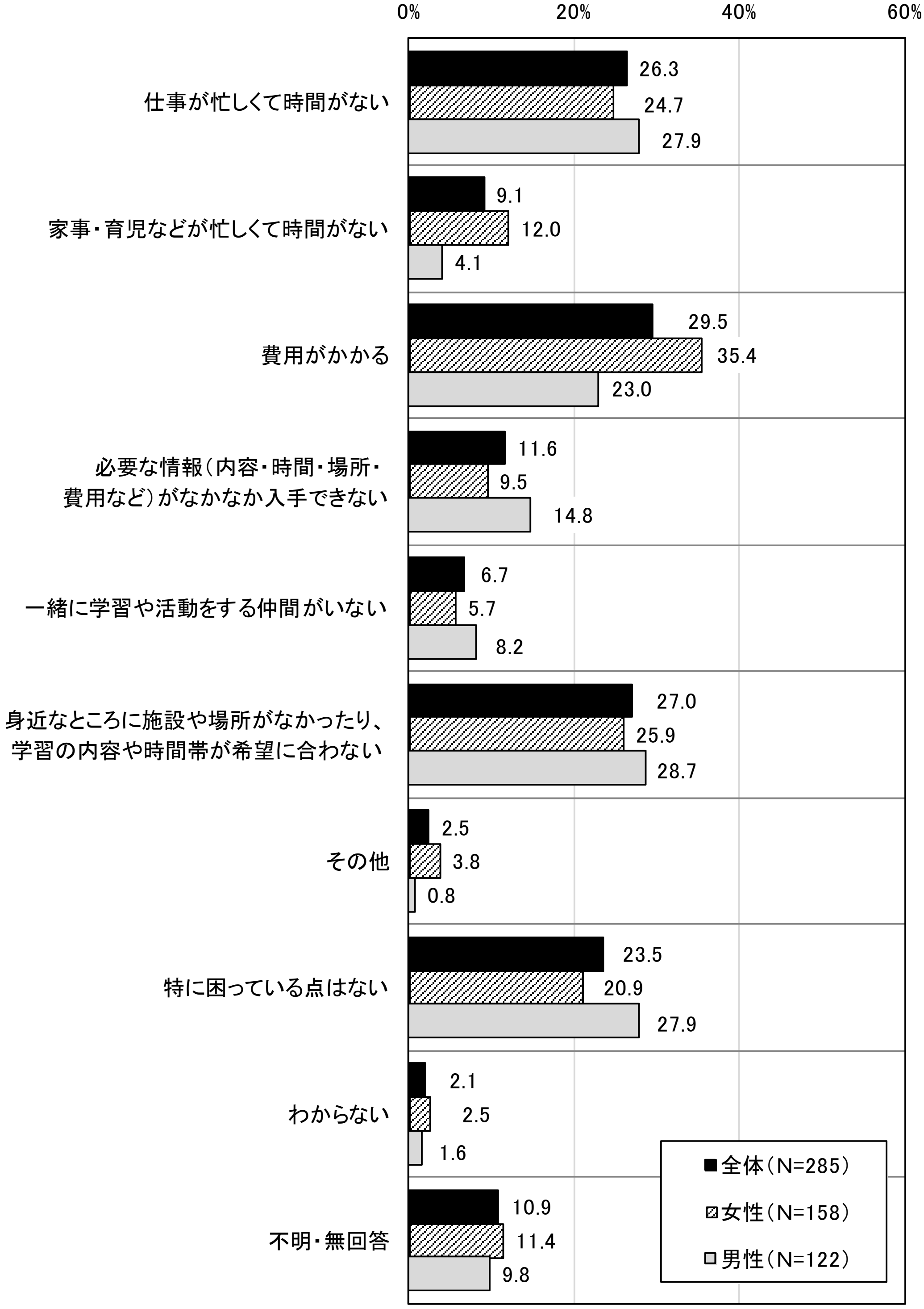
## 【問25－３】生涯学習を行うにあたってお困りの点は何ですか。

生涯学習を行う上で困る点について、全体では「費用がかかる」が29.5％と最も高くなっています。

男女別では、「費用がかかる」が女性で35.4％、「身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない」が男性で28.7％と最も高くなっています。

年齢別では、20代から40代で「費用がかかる」が高くなっています。

〈複数回答〉



■問 25ー３のクロス集計（年齢別）

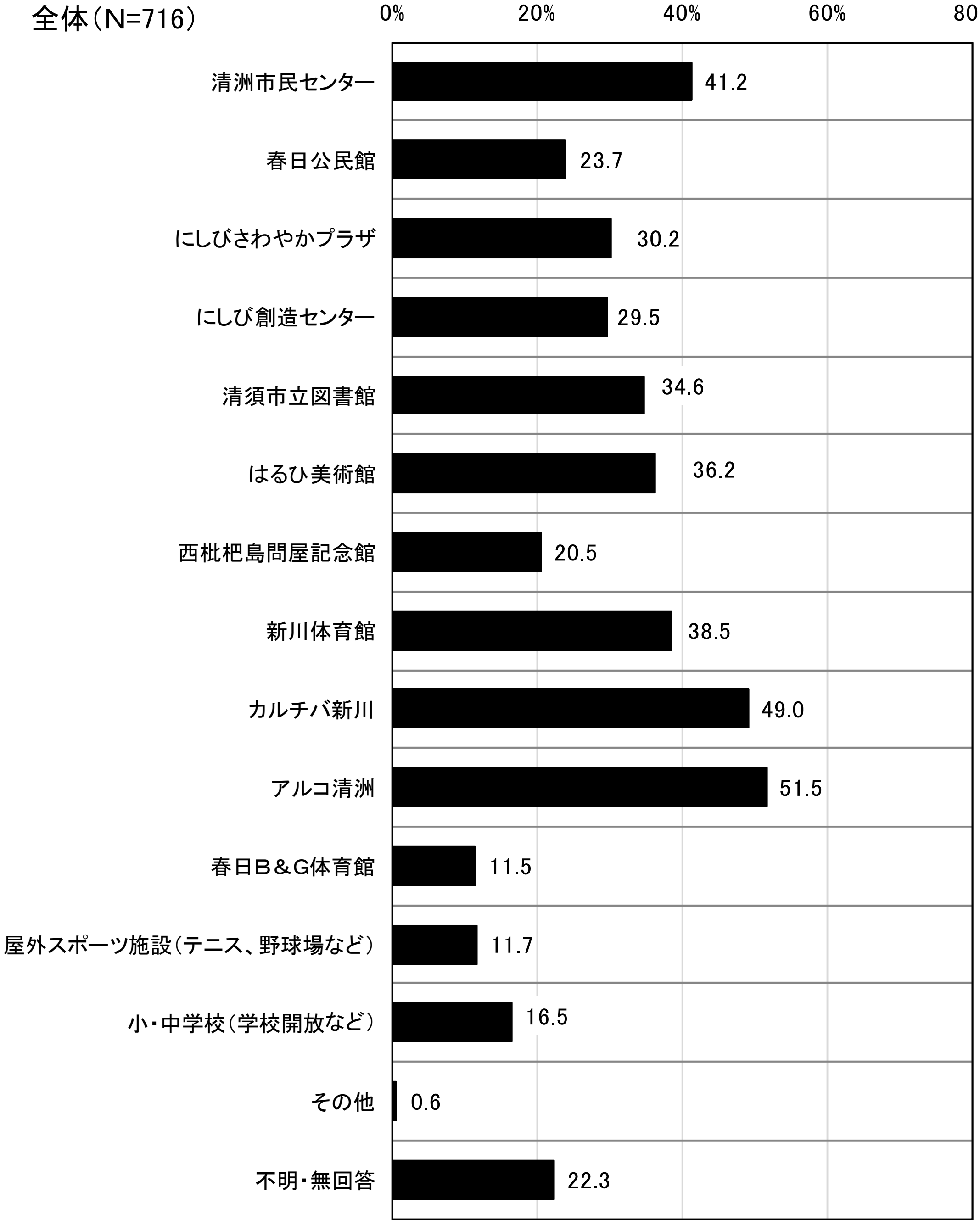
単位:％

| | 仕事が忙しくて時間がない | 家事・育児などが忙しくて時間がない | 費用がかかる | 必要な情報（内容・時間・場所・費用など）がなかなか入手できない | 一緒に学習や活動をする仲間がいない | 身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない | その他 | 特に困っている点はない | わからない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **【年齢別】** | | | | | | | | | | |
| 20 代(N=43) | 41.9 | 4.7 | 44.2 | 16.3 | 7.0 | 37.2 | 2.3 | 14.0 | 2.3 | - |
| 30 代(N=39) | 35.9 | 25.6 | 38.5 | 12.8 | 7.7 | 25.6 | 2.6 | 15.4 | 5.1 | 2.6 |
| 40 代(N=51) | 45.1 | 17.6 | 45.1 | 9.8 | 9.8 | 25.5 | - | 15.7 | - | 2.0 |
| 50 代(N=39) | 25.6 | 5.1 | 30.8 | 7.7 | 5.1 | 35.9 | - | 25.6 | - | 12.8 |
| 60 代(N=57) | 14.0 | 1.8 | 19.3 | 15.8 | 7.0 | 22.8 | 1.8 | 31.6 | - | 21.1 |
| 70 歳以上(N=53) | 1.9 | 3.8 | 3.8 | 7.5 | 3.8 | 18.9 | 7.5 | 35.8 | 3.8 | 22.6 |

## 【問 26－１】次のＡ～Ｎにあげられている市の生涯学習関連施設の中で、知っているものはどれですか。

生涯学習関連施設の中で、知っているものについて、全体では「アルコ清洲」が 51.5%と最も高くなっています。

〈複数回答〉

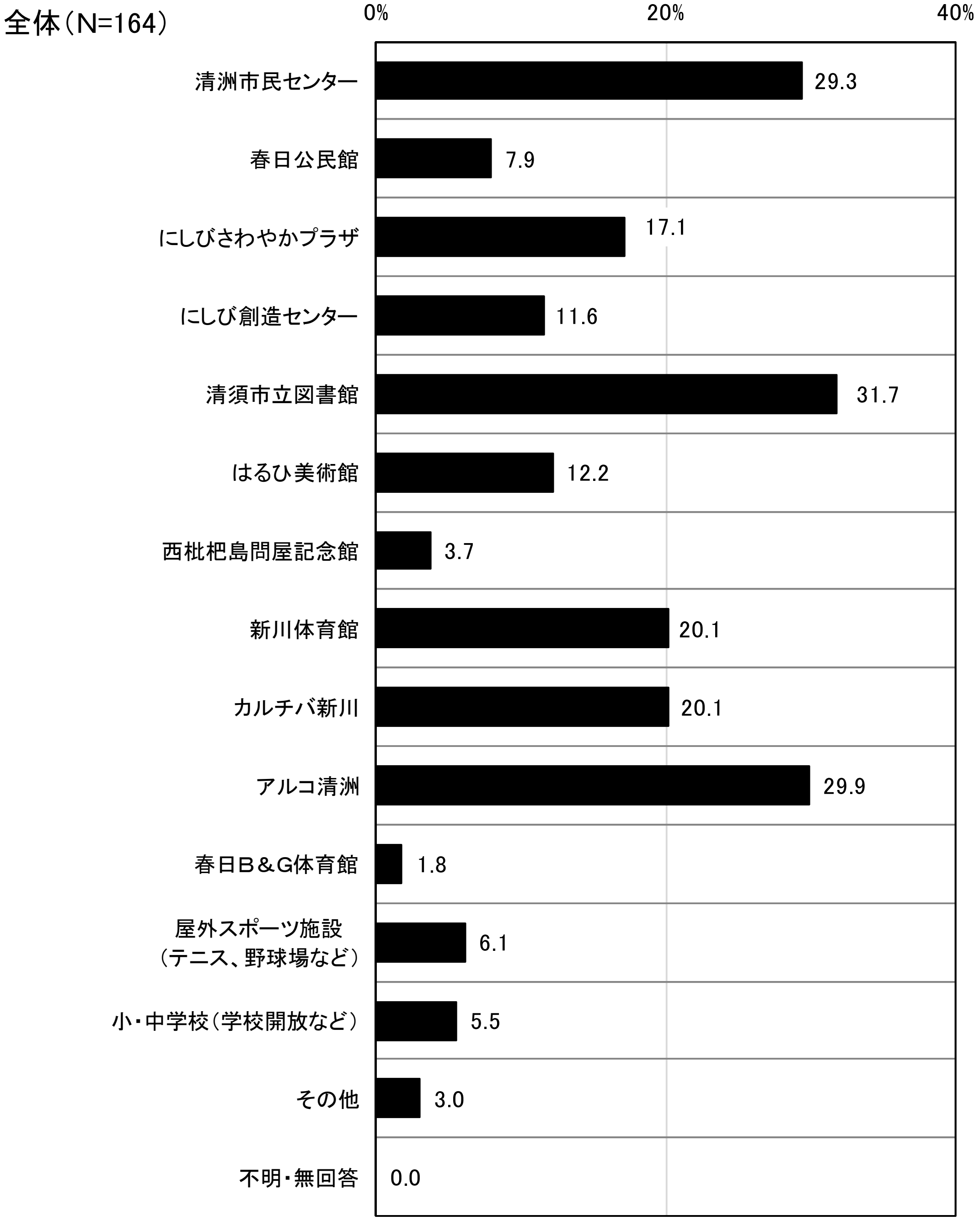


**＜問 26－1で、知っているものがあり施設名を答えた方におたずねします＞**

【問 26－2】次のA～Nにあげられている市の生涯学習関連施設の中で、よく利用するものはどれですか。

生涯学習関連施設の中で、よく利用するものについて、全体では「清須市立図書館」が 31.7%、「アルコ清須」が 29.9%、「清須市民センター」が 29.3%と高くなっています。

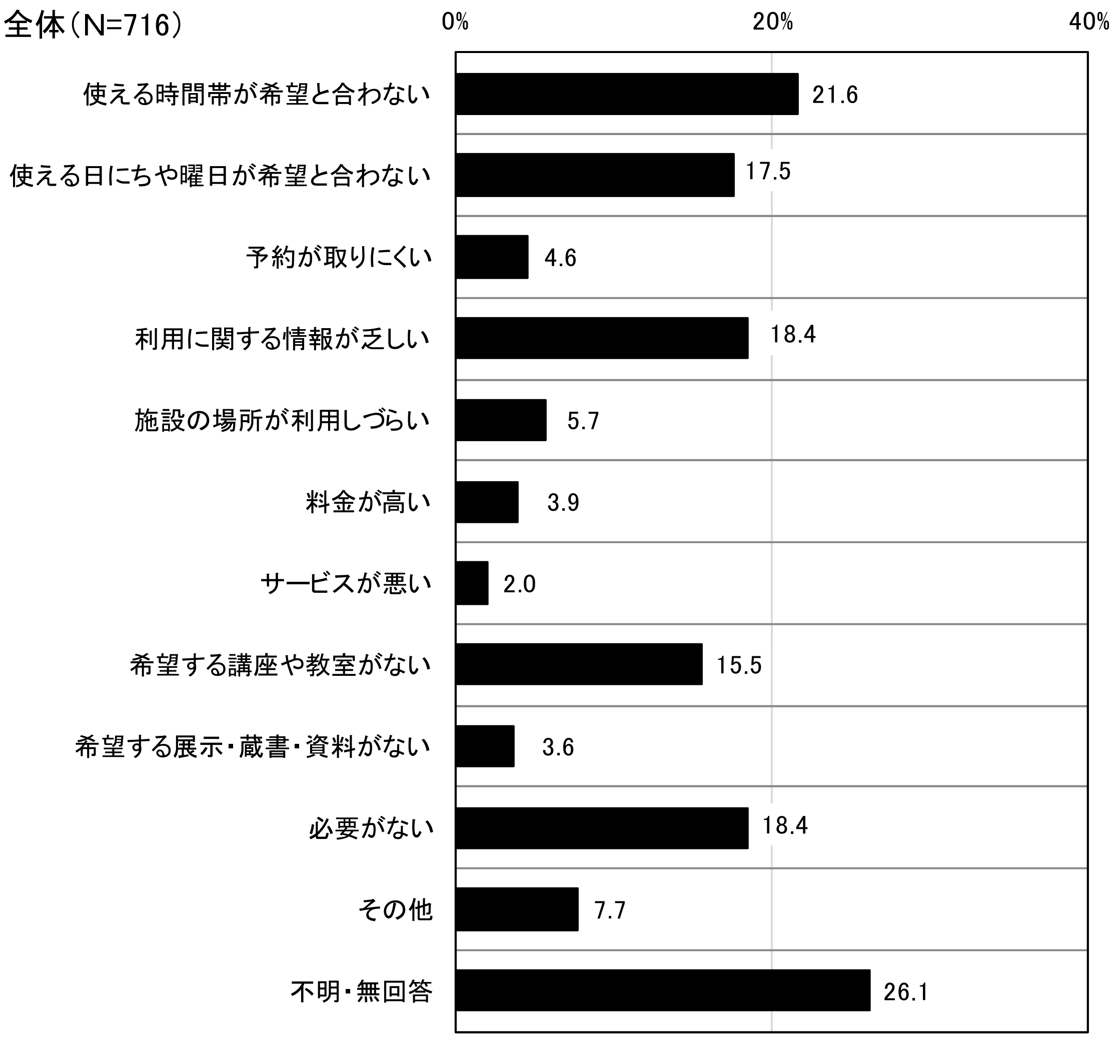
〈複数回答〉



## 【問 27】市の生涯学習関連施設を利用する上での問題点は何ですか。

生涯学習関連施設を利用する上での問題点について、全体では「使える時間帯が希望と合わない」が 21.6％と最も高くなっています。

〈複数回答〉



# 3　生涯学習の成果の生かし方について

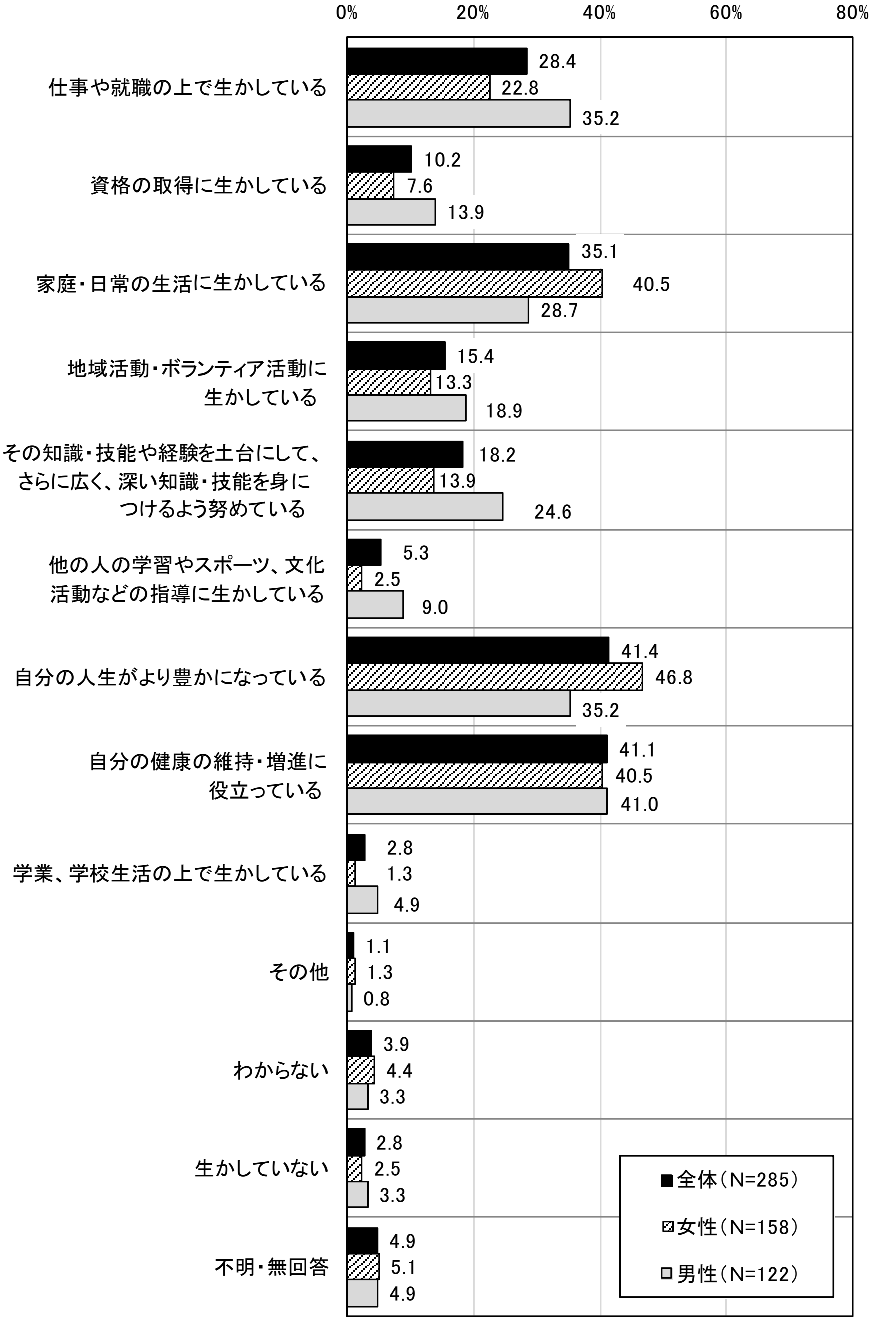
**＜問 25 で「１」～「17」と答えた方（１年間で生涯学習をしたことがある方）におたずねします＞**

【問 28】あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。

生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方について、全体では「自分の人生がより豊かになっている」が 41.4％と最も高く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」が 41.1％となっています。

男女別では、「自分の人生がより豊かになっている」が女性で 46.8％、「自分の健康の維持・増進に役立っている」が男性で 41.0％と最も高くなっています。

〈複数回答〉



## 【問 29】あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために生かすべきだと思いますか。

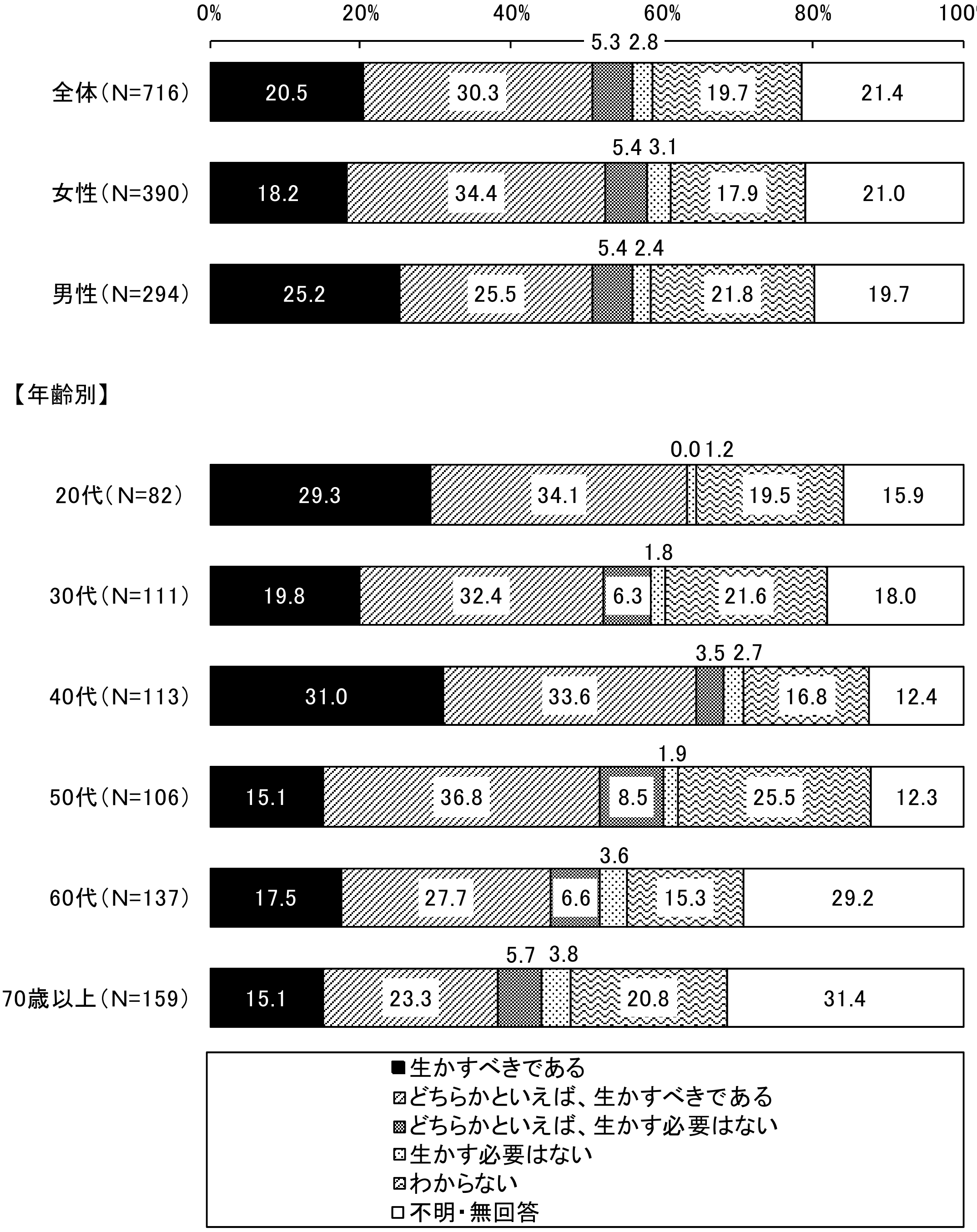
＊『生かすべきである』＝「生かすべきである」＋「どちらかといえば、生かすべきである」

知識・技能や経験を、自分以外のために生かすべきだと思うかについて、全体では『生かすべきである』が 50.8%と高くなっています。

男女別では、『生かすべきである』が女性で 52.6%、男性で 50.7%となっています。

年齢別では、50 代以上で『生かすべきである』が低くなっています。

〈単数回答〉



**<問29で「1　生かすべきである」、「2　どちらかといえば、生かすべきである」と答えた方におたずねします>**

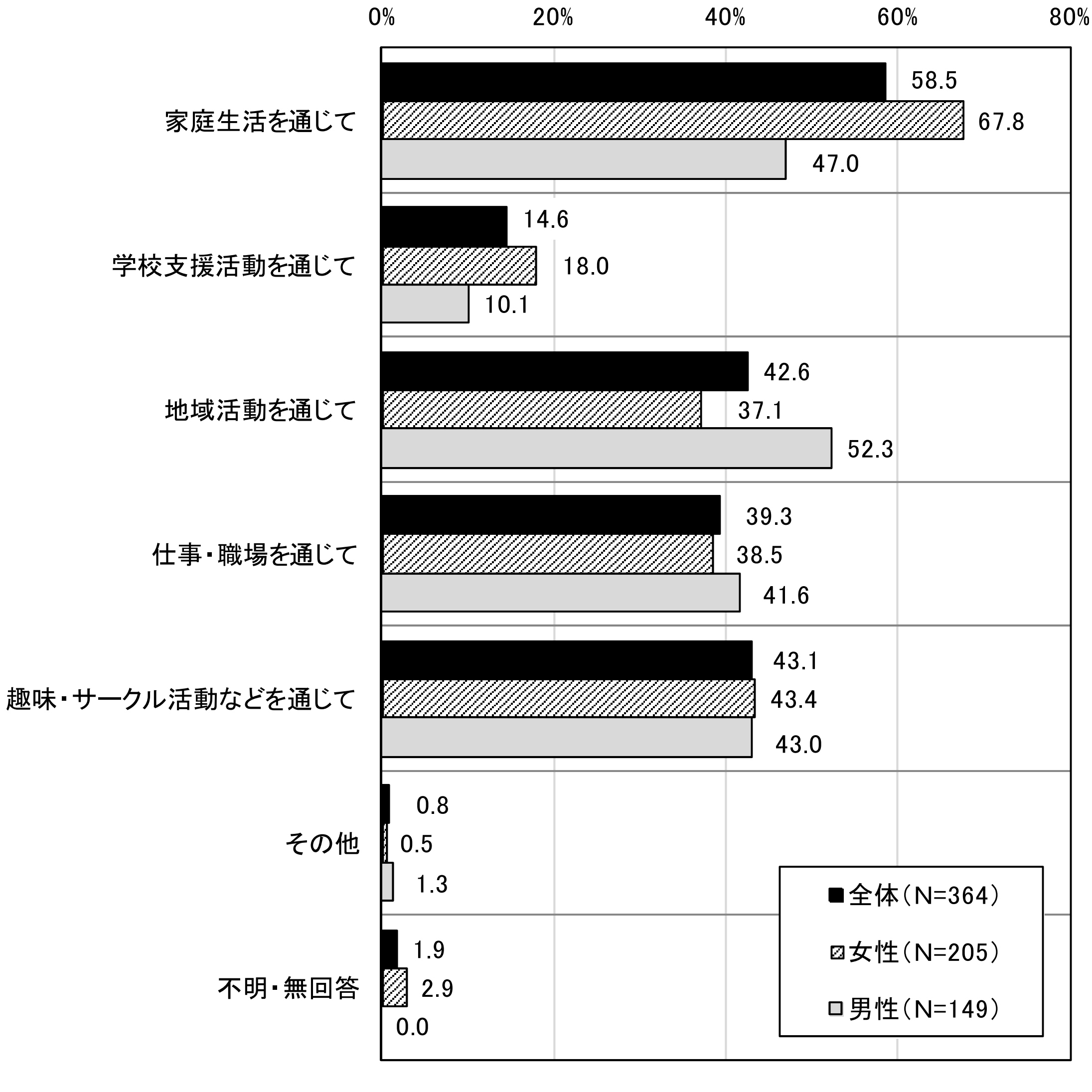
## 【問 29－1】生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような場所・機会を通じて生かすべきだと思いますか。

知識・技能や経験をどこで生かすべきだと思うかについて、全体では「家庭生活を通じて」が 58.5％と最も高くなっています。

男女別では、「家庭生活を通じて」が女性で 67.8％と、男性の 47.0％より 20.8 ポイント高くなっています。

年齢別では、30 代から 50 代、70 歳以上で「家庭生活を通じて」が最も高くなっています。

〈複数回答〉



■問 29ー１のクロス集計（年齢別）

単位：%

| | 家庭生活を通じて | 学校支援活動を通じて | 地域活動を通じて | 仕事・職場を通じて | 趣味・サークル活動などを通じて | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **【年齢別】** | | | | | | | |
| 20 代（N=52） | 59.6 | 13.5 | 25.0 | 65.4 | 46.2 | - | - |
| 30 代（N=58） | 69.0 | 22.4 | 37.9 | 60.3 | 37.9 | - | - |
| 40 代（N=73） | 65.8 | 19.2 | 41.1 | 57.5 | 35.6 | - | 2.7 |
| 50 代（N=55） | 60.0 | 10.9 | 43.6 | 32.7 | 47.3 | - | 1.8 |
| 60 代（N=62） | 45.2 | 14.5 | 54.8 | 9.7 | 50.0 | 3.2 | 1.6 |
| 70 歳以上（N=61） | 52.5 | 6.6 | 50.8 | 9.8 | 44.3 | 1.6 | 4.9 |

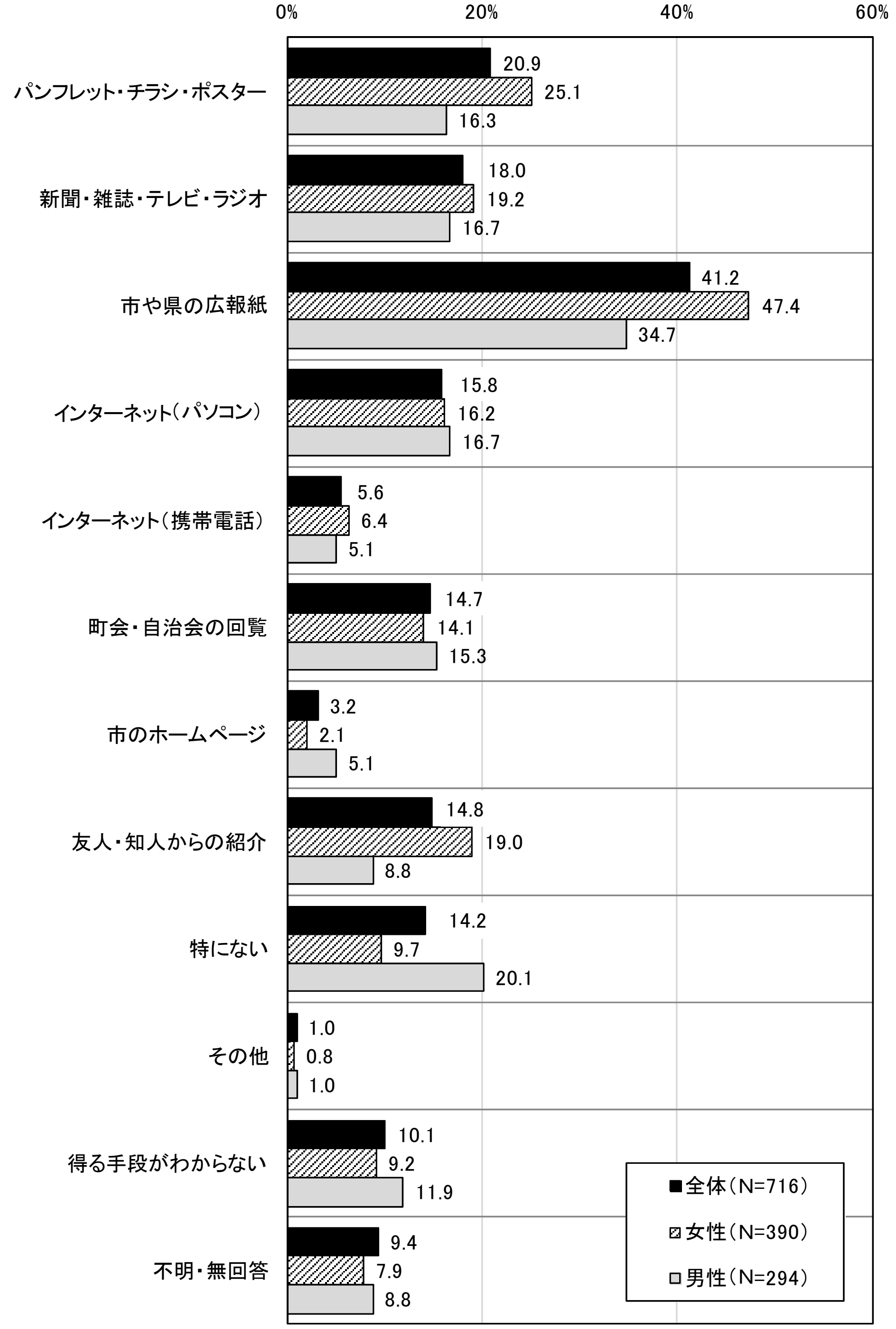
# 4 生涯学習の情報について

【問 30】あなたは生涯学習に関する情報を、どのように得ていますか。

生涯学習に関する情報の入手方法について、全体では「市や県の広報紙」が 41.2%と最も高くなっています。

男女別では、男女ともに「市や県の広報紙」が最も高くなっています。また、「特にない」が女性で 9.7%、男性で 20.1%と、男性が女性を 10.4 ポイント上回っています。

〈複数回答〉



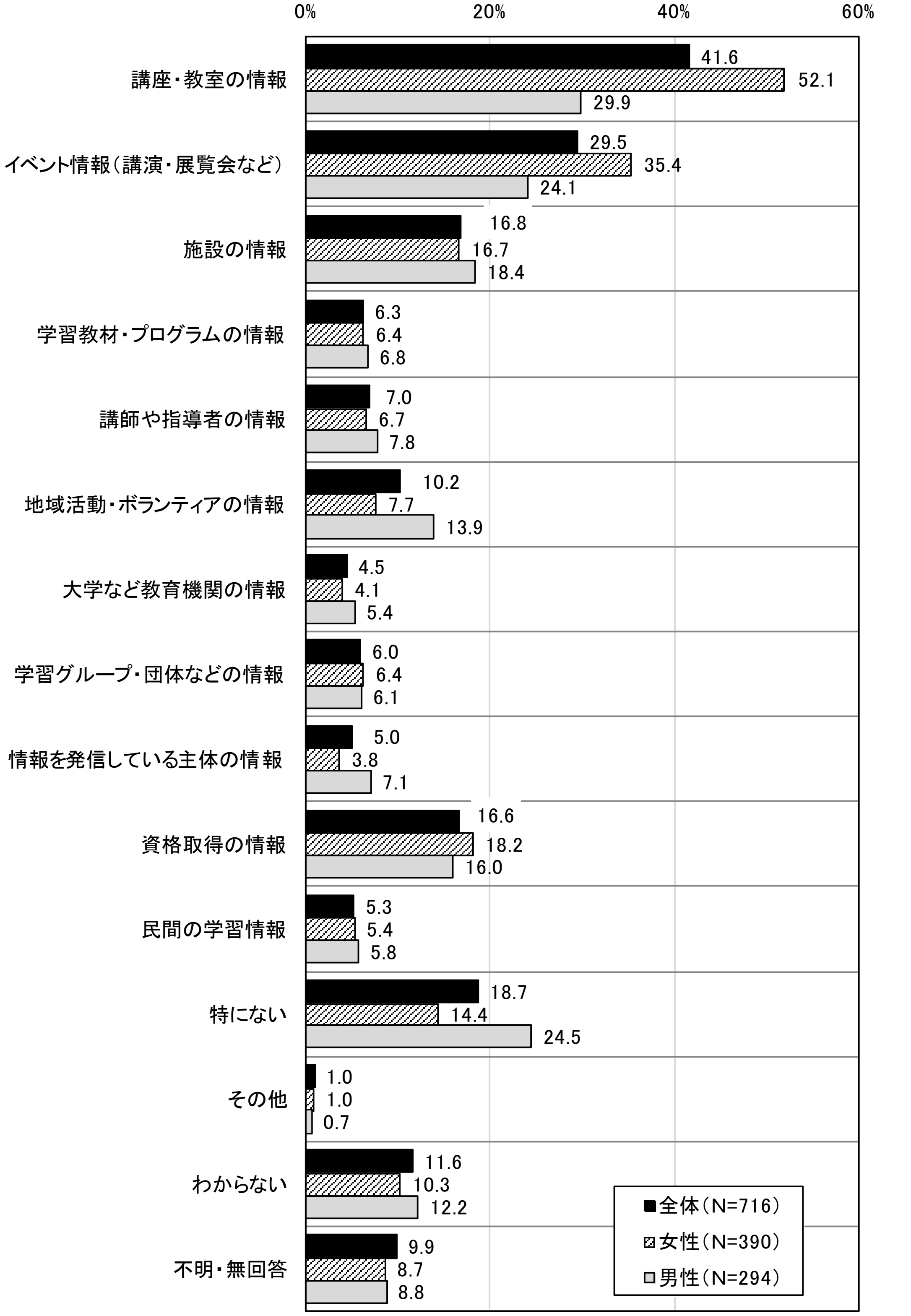
## 【問31】あなたはどのような生涯学習に関する情報を望みますか。

生涯学習に関する情報に望むことについて、全体では「講座・教室の情報」が41.6%と高くなっています。

男女別では、「講座・教室の情報」が女性で52.1%、男性で29.9%と最も高くなっています。

年齢別では、すべての年代で「講座・教室の情報」が高くなっています。

〈複数回答〉



■問 31 のクロス集計（年齢別）

単位：%

| | 講座・教室の情報 | イベント情報（講演・展覧会など） | 施設の情報 | 学習教材・プログラムの情報 | 講師や指導者の情報 | 地域活動・ボランティアの情報 | 大学など教育機関の情報 | 学習グループ・団体などの情報 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | | | |
| 20 代（N=82） | 35.4 | 25.6 | 15.9 | 9.8 | 7.3 | 11.0 | 9.8 | 7.3 |
| 30 代（N=111） | 51.4 | 31.5 | 18.9 | 7.2 | 8.1 | 4.5 | 6.3 | 6.3 |
| 40 代（N=113） | 58.4 | 45.1 | 22.1 | 15.9 | 11.5 | 8.8 | 7.1 | 6.2 |
| 50 代（N=106） | 48.1 | 34.9 | 19.8 | 5.7 | 8.5 | 6.6 | 4.7 | 7.5 |
| 60 代（N=137） | 39.4 | 31.4 | 17.5 | 1.5 | 5.8 | 19.7 | 0.7 | 7.3 |
| 70 歳以上（N=159） | 24.5 | 14.5 | 9.4 | 1.3 | 2.5 | 9.4 | 1.9 | 2.5 |

| | 情報を発信している主体の情報 | 資格取得の情報 | 民間の学習情報 | 特にない | その他 | わからない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | | |
| 20 代（N=82） | 8.5 | 31.7 | 3.7 | 18.3 | 1.2 | 14.6 | 4.9 |
| 30 代（N=111） | 3.6 | 24.3 | 8.1 | 16.2 | - | 20.7 | 1.8 |
| 40 代（N=113） | 2.7 | 31.0 | 9.7 | 13.3 | - | 4.4 | 3.5 |
| 50 代（N=106） | 2.8 | 12.3 | 4.7 | 20.8 | - | 12.3 | 3.8 |
| 60 代（N=137） | 8.0 | 9.5 | 5.1 | 20.4 | 1.5 | 5.8 | 10.9 |
| 70 歳以上（N=159） | 5.0 | 2.5 | 1.9 | 22.0 | 2.5 | 13.2 | 24.5 |

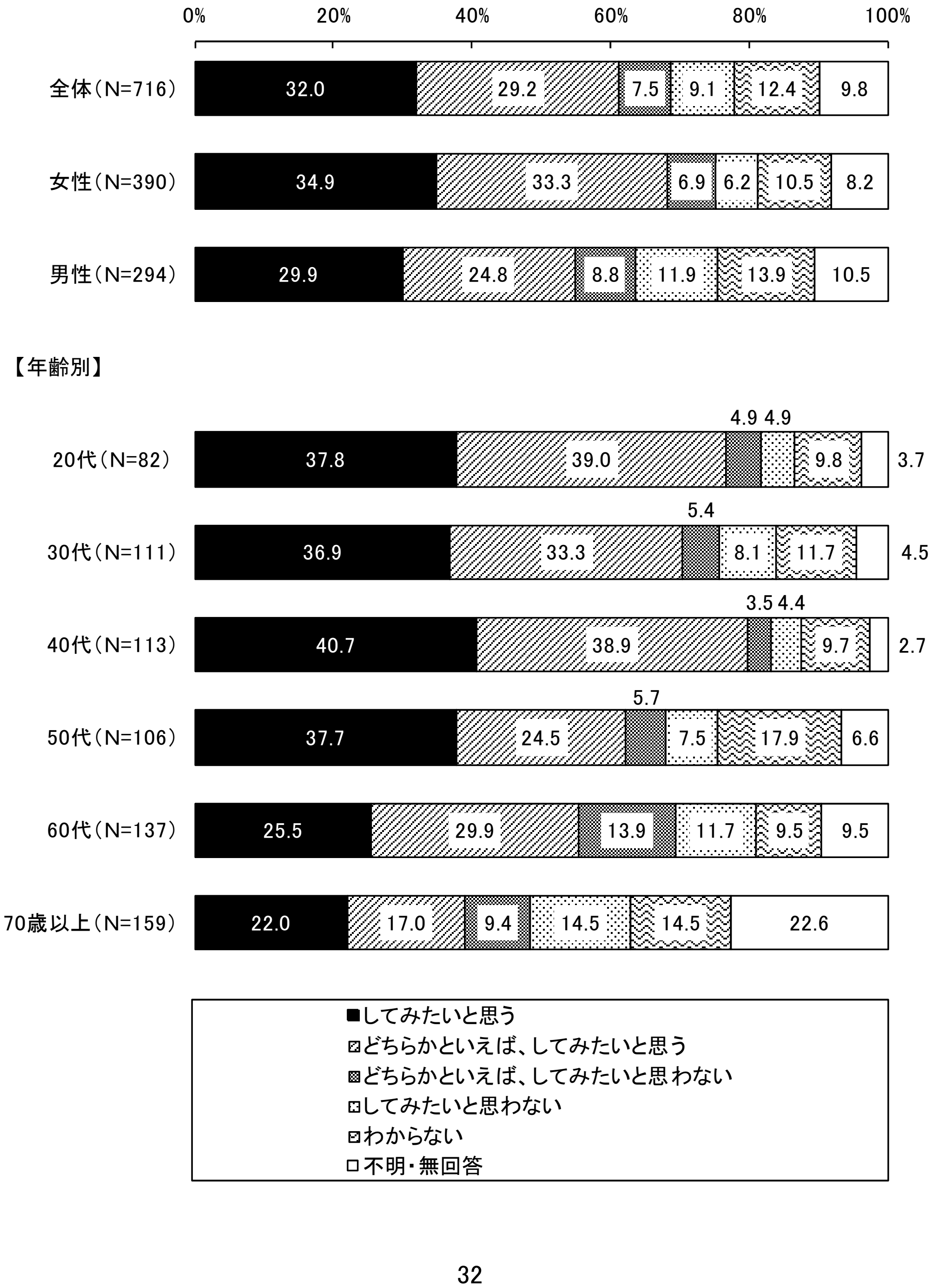
# 5 生涯学習の今後の意向について

【問 32】あなたは、今後、生涯学習をしてみたいと思いますか。すでに生涯学習をしている方は、今後もしたいと思いますか。

＊『してみたい』＝「してみたいと思う」＋「どちらかといえば、してみたいと思う」

今後、生涯学習をしてみたいかについて、全体では『してみたい』が 61.2%と高くなっています。男女別では、『してみたい』が女性で 68.2%と、男性の 54.7%を 13.5 ポイント上回っています。年齢別では、40 代以降で『してみたい』が低下しています。

〈単数回答〉



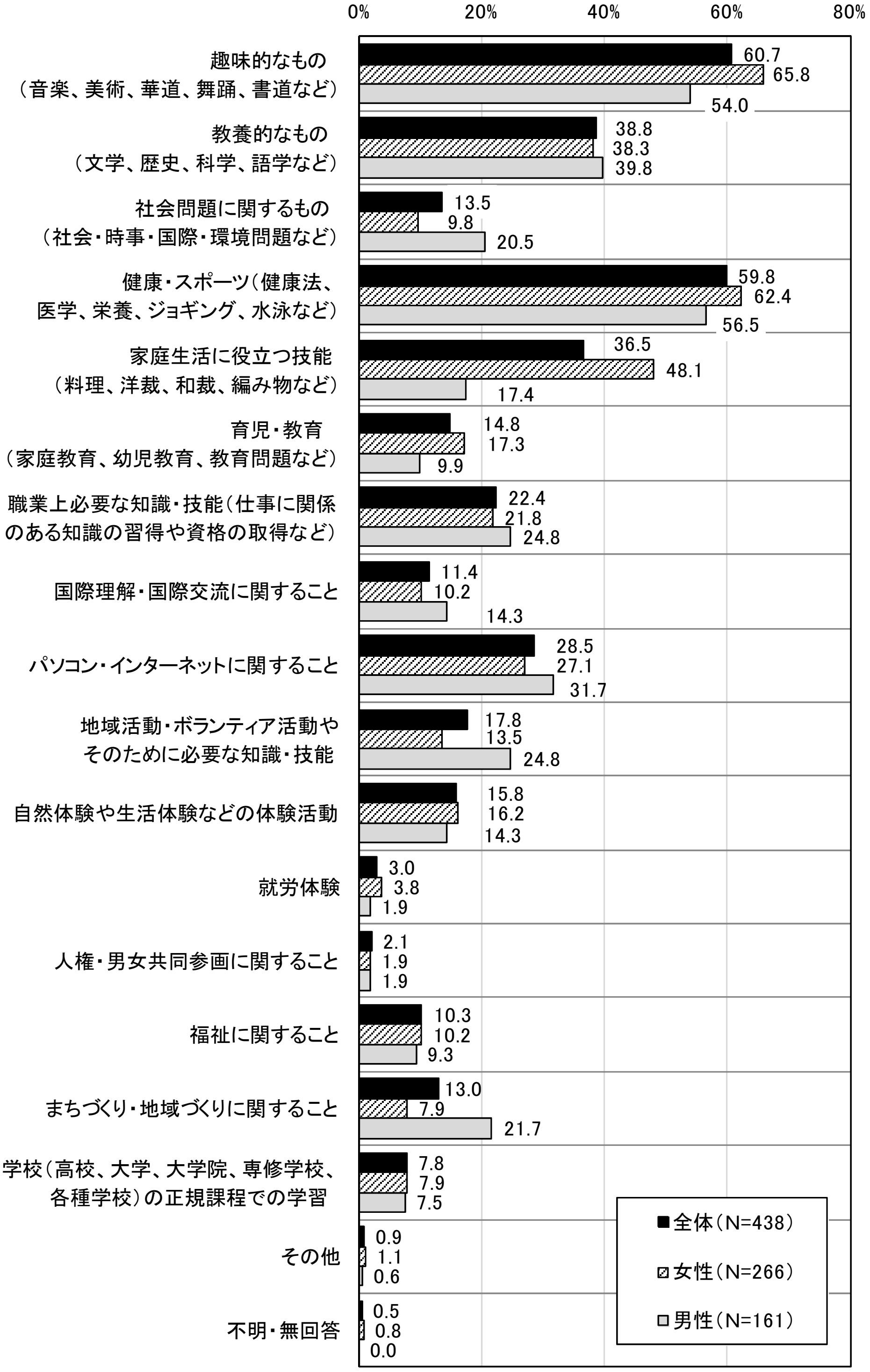
## ＜問 32 で「1 してみたいと思う」、「2 どちらかといえば、してみたいと思う」と答えた方におたずねします＞
## 【問 32－1】あなたは、今後、どのような生涯学習の機会が増えればよいと思いますか。

今後、どのような生涯学習の機会が増えればよいかについて、全体では「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」が 60.7%と最も高くなっています。

男女別では、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」が女性で 65.8%、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が男性で 56.5%と最も高くなっています。

年齢別では、20 代から 50 代で「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」が、60 代以降では「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が最も高くなっています。

〈複数回答〉



■問 32ー１のクロス集計（年齢別）

単位:％

| | 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など） | 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など） | 社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境問題など） | 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など） | 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など） | 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など） | 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など） | 国際理解・国際交流に関すること | パソコン・インターネットに関すること |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | | | | |
| 20 代（N=63） | 69.8 | 46.0 | 19.0 | 58.7 | 44.4 | 34.9 | 30.2 | 19.0 | 27.0 |
| 30 代（N=78） | 64.1 | 34.6 | 12.8 | 56.4 | 47.4 | 32.1 | 38.5 | 16.7 | 30.8 |
| 40 代（N=90） | 71.1 | 42.2 | 7.8 | 70.0 | 41.1 | 10.0 | 28.9 | 10.0 | 22.2 |
| 50 代（N=66） | 63.6 | 43.9 | 6.1 | 60.6 | 25.8 | 4.5 | 21.2 | 4.5 | 31.8 |
| 60 代（N=76） | 47.4 | 32.9 | 21.1 | 52.6 | 34.2 | 6.6 | 9.2 | 5.3 | 31.6 |
| 70 歳以上（N=62） | 46.8 | 33.9 | 14.5 | 58.1 | 22.6 | 1.6 | 3.2 | 14.5 | 29.0 |

| | 地域活動・ボランティア活動やそのために必要な知識・技能 | 自然体験や生活体験などの体験活動 | 就労体験 | 人権・男女共同参画に関すること | 福祉に関すること | まちづくり・地域づくりに関すること | 学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の正規課程での学習 | その他 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | | | | |
| 20 代（N=63） | 19.0 | 17.5 | 7.9 | 3.2 | 11.1 | 14.3 | 19.0 | - | 1.6 |
| 30 代（N=78） | 17.9 | 24.4 | 3.8 | 3.8 | 6.4 | 14.1 | 9.0 | - | - |
| 40 代（N=90） | 13.3 | 14.4 | 3.3 | 1.1 | 7.8 | 7.8 | 10.0 | 1.1 | - |
| 50 代（N=66） | 18.2 | 15.2 | 1.5 | 1.5 | 6.1 | 13.6 | 4.5 | 1.5 | - |
| 60 代（N=76） | 26.3 | 15.8 | 1.3 | 1.3 | 14.5 | 18.4 | 1.3 | 1.3 | - |
| 70 歳以上（N=62） | 12.9 | 6.5 | - | 1.6 | 17.7 | 11.3 | 3.2 | 1.6 | 1.6 |

【問 33】今後、人々の生涯学習をもっと盛んにしていくために、市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

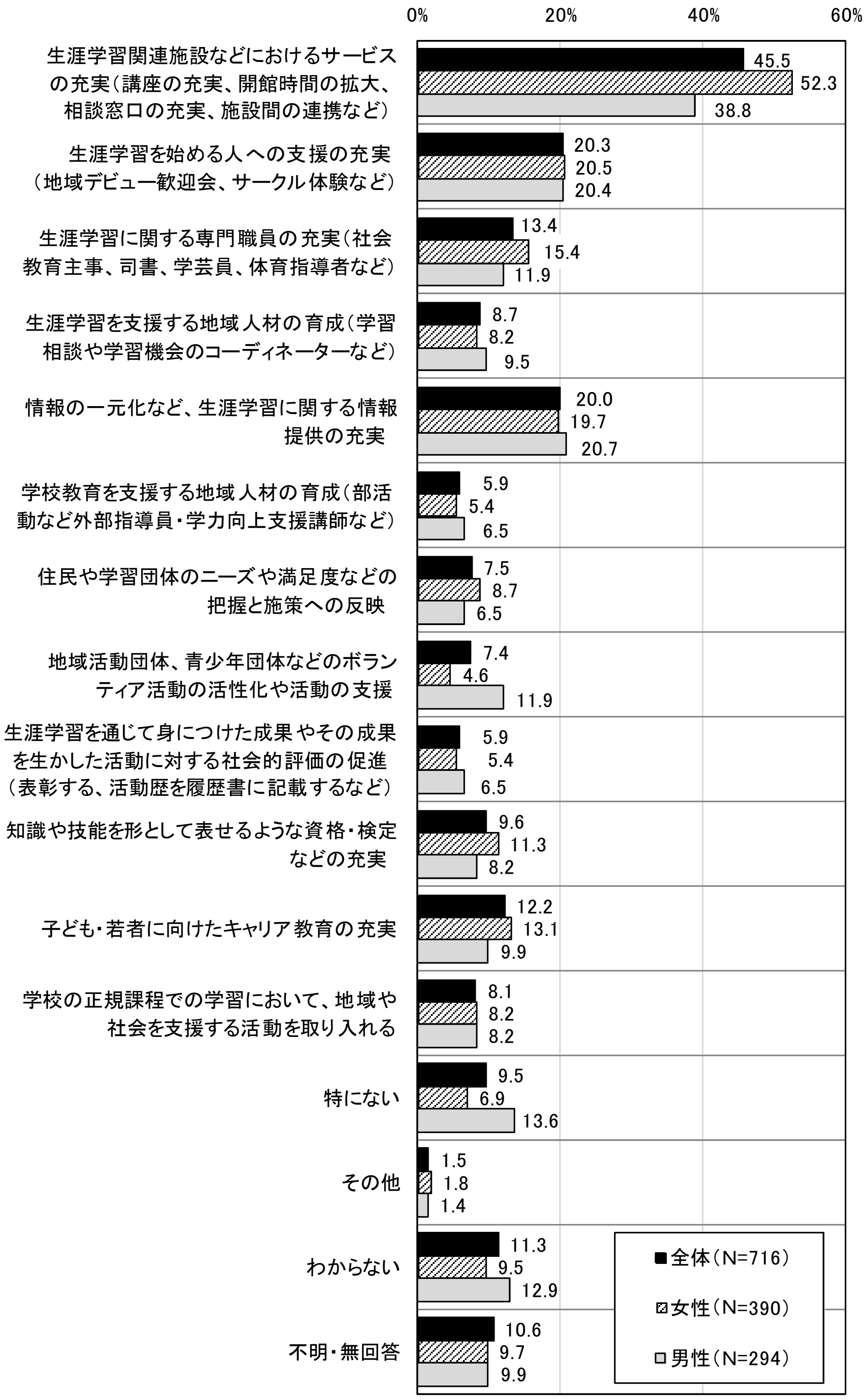
今後、市ではどのようなことに力を入れるべきかについて、全体では「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など）」が 45.5％と最も高く、次いで「生涯学習を始める人への支援の充実（地域デビュー歓迎会、サークル体験など）」が 20.3％となっています。

男女別では、「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など）」が女性で 52.3％、男性で 38.8％と最も高くなっています。

年齢別では、すべての年代で「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など）」が最も高くなっています。

〈複数回答〉

※グラフは次ページに掲載



0%
20%
40%
60%
生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など）
45.5
52.3
38.8
生涯学習を始める人への支援の充実（地域デビュー歓迎会、サークル体験など）
20.3
20.5
20.4
生涯学習に関する専門職員の充実（社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など）
13.4
15.4
11.9
生涯学習を支援する地域人材の育成（学習相談や学習機会のコーディネーターなど）
8.7
8.2
9.5
情報の一元化など、生涯学習に関する情報提供の充実
20.0
19.7
20.7
学校教育を支援する地域人材の育成（部活動など外部指導員・学力向上支援講師など）
5.9
5.4
6.5
住民や学習団体のニーズや満足度などの把握と施策への反映
7.5
8.7
6.5
地域活動団体、青少年団体などのボランティア活動の活性化や活動の支援
7.4
4.6
11.9
生涯学習を通じて身につけた成果やその成果を生かした活動に対する社会的評価の促進（表彰する、活動歴を履歴書に記載するなど）
5.9
5.4
6.5
知識や技能を形として表せるような資格・検定などの充実
9.6
11.3
8.2
子ども・若者に向けたキャリア教育の充実
12.2
13.1
9.9
学校の正規課程での学習において、地域や社会を支援する活動を取り入れる
8.1
8.2
8.2
特にない
9.5
6.9
13.6
その他
1.5
1.8
1.4
わからない
11.3
9.5
12.9
不明・無回答
10.6
9.7
9.9
■全体（N=716）
▨女性（N=390）
□男性（N=294）

■問 33 のクロス集計（年齢別）

単位：%

| | 生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など） | 生涯学習を始める人への支援の充実（地域デビュー歓迎会、サークル体験など） | 生涯学習に関する専門職員の充実（社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など） | 生涯学習を支援する地域人材の育成（学習相談や学習機会のコーディネーターなど） | 情報の一元化など、生涯学習に関する情報提供の充実 | 学校教育を支援する地域人材の育成（部活動など外部指導員・学力向上支援講師など） | 住民や学習団体のニーズや満足度などの把握と施策への反映 | 地域活動団体、青少年団体などのボランティア活動の活性化や活動の支援 | 生涯学習を通じて身につけた成果やその成果を生かした活動に対する社会的評価の促進（表彰する、活動歴を履歴書に記載するなど） | 知識や技能を形として表せるような資格・検定などの充実 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | | | | | |
| 20 代(N=82) | 48.8 | 20.7 | 13.4 | 9.8 | 20.7 | 7.3 | 13.4 | 6.1 | 9.8 | 15.9 |
| 30 代(N=111) | 47.7 | 31.5 | 14.4 | 6.3 | 22.5 | 5.4 | 7.2 | 5.4 | 8.1 | 16.2 |
| 40 代(N=113) | 59.3 | 23.0 | 13.3 | 4.4 | 26.5 | 9.7 | 12.4 | 8.8 | 5.3 | 11.5 |
| 50 代(N=106) | 60.4 | 24.5 | 19.8 | 14.2 | 21.7 | 5.7 | 7.5 | 7.5 | 5.7 | 10.4 |
| 60 代(N=137) | 43.1 | 16.8 | 10.9 | 8.8 | 21.2 | 5.1 | 5.1 | 9.5 | 4.4 | 5.1 |
| 70 歳以上(N=159) | 25.8 | 11.3 | 10.7 | 8.8 | 10.7 | 3.8 | 3.8 | 6.9 | 4.4 | 4.4 |

| | 子ども・若者に向けたキャリア教育の充実 | 学校の正規課程での学習において、地域や社会を支援する活動を取り入れる | 特にない | その他 | わからない | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 【年齢別】 | | | | | | |
| 20 代(N=82) | 19.5 | 12.2 | 6.1 | 3.7 | 12.2 | 3.7 |
| 30 代(N=111) | 21.6 | 5.4 | 9.0 | 2.7 | 15.3 | 0.9 |
| 40 代(N=113) | 16.8 | 12.4 | 10.6 | - | 2.7 | 2.7 |
| 50 代(N=106) | 8.5 | 8.5 | 8.5 | - | 9.4 | 2.8 |
| 60 代(N=137) | 6.6 | 8.8 | 11.7 | 2.9 | 10.9 | 8.8 |
| 70 歳以上(N=159) | 5.0 | 4.4 | 10.1 | 0.6 | 15.7 | 31.4 |

# Ⅳ　自由回答

（生涯学習の現状）

問25　あなたは、この１年くらいの間に、次に示す生涯学習をしたことがありますか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| 一度もしたことがない。しようと思ったことがない | 4 |
| 引きこもりにならないよう、なるべくおしゃべりをと思っている | 1 |
| ゴルフ、ボウリングの各大会に継続して参加している | 1 |
| 病気のため、ない | 1 |
| 寝たきりで働けない | 1 |
| ゴルフ・旅行 | 1 |
| わからない | 1 |

問25－1　生涯学習をしていない理由は何ですか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| 健康面での不安があるため（体調が悪いから、持病があるから　等） | 6 |
| 一生勉学だと思う | 1 |
| 大学に通っている学生だから | 1 |
| 病気入院中のためありません | 1 |
| 病院通いなどで時間もない | 1 |
| 老齢と病気のため | 1 |
| 平日は仕事で、休日は自分の趣味に費やしている | 1 |
| 父親の介護で時間がなかった | 1 |
| 家に病人がいる | 1 |
| 今は必要性をあまり感じない | 1 |
| 体力的に無理 | 1 |

問25－2　どのような場所や形態で生涯学習をしたことがありますか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| したことがない | 8 |
| 個人で気ままに | 2 |
| 個人的に師についたり、仕事・経験を通して学ぶ。単発の講座受講 | 1 |
| 社会福祉協議会 | 1 |
| 寿会 | 1 |
| 職場外の研修 | 1 |
| 若い頃に習った編み物・洋裁・生け花・ガーデニングなど、ずっと続けていきたいと思っている | 1 |
| 病気入院のため、ない | 1 |

問25－3　生涯学習を行うにあたってお困りの点は何ですか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| 移動手段がない。車がないと行けない | 2 |
| 夜間学習がない | 1 |
| 学習をする場所が近くにない | 1 |
| 体力がない | 1 |
| 精神力がない。波がある | 1 |
| 持病があるため | 1 |
| 身体に自信がなくなったので出ない | 1 |
| 健康ではない | 1 |
| 老齢で体が動かない | 1 |
| 家に病人がいる | 1 |
| 子どもがいて預けられないため、単独で動けない | 1 |
| 在宅介護のため、教室に時間どおり行けない | 1 |
| 図書館の開館時間に間に合わない（平日） | 1 |
| 自由でいたい | 1 |

問26　次のA～Nにあげられている市の生涯学習関連施設の中で、知っているもの、よく利用するものはどれですか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| 利用をしていない | 1 |
| 公園・神社 | 1 |
| 西枇農協 | 1 |
| 清須市社会福祉協議会 | 1 |

問27　市の生涯学習関連施設を利用する上での問題点は何ですか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| 体力がない | 2 |
| 利用方法がわからない | 2 |
| 知らなかった | 2 |
| 図書館が遠くなり、利用できなくなった | 2 |
| 満足している | 1 |
| 自由 | 1 |
| 現在通っている | 1 |
| 定められた曜日・時間に出席する | 1 |
| 合併してから利用料金変更になったようだが、一般人にはわからない | 1 |
| 現在、利用に対する関心がない | 1 |
| まだ地理に不慣れでよく知らない | 1 |
| 元清須市市民の他市町村移転の優遇を考慮すべきと | 1 |
| 家の近所の人たちに会うのが非常に煩わしい | 1 |
| 無駄な税金を使うべきでない | 1 |
| 場所まで行く交通手段がない | 1 |
| 託児がない。子ども連れで行きにくい | 1 |
| 小さい子どもが２人、実家は遠い。１人は障害児、一緒にすることも難しい。預けるのにもお金がかかる。大人１人に子ども２人では難しい | 1 |
| 子どもをみてもらえない | 1 |
| 出かける気力がない | 1 |
| 寝たきりで動けない | 1 |
| 時間がない | 1 |
| 自分の意志かな | 1 |
| 自分で予約を取ったことがない | 1 |
| 長期利用しているわりには部屋の配慮がない | 1 |
| 情報入手の仕方がわからない | 1 |
| 希望する講座に予約を入れても人数割れをして参加できない。二次募集しても良いのではといつも思う | 1 |
| 「いまひとつ、という感じ」は何なんでしょうか | 1 |
| わからない | 4 |

（生涯学習の成果の生かし方）

問28　あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| 旅行 | 1 |
| 自己満足でもある | 1 |
| 現在勉強中のため、今後就職に生かしていきたい | 1 |

問29－1　生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような場所・機会を通じて生かすべきだと思いますか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| 健康管理 | 1 |
| ボランティア | 1 |
| 陶芸教室に行っているので作品を友人や家でも利用する | 1 |
| わからない | 1 |

（生涯学習の情報）

問30　あなたは生涯学習に関する情報を、どのように得ていますか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| 寿会 | 1 |
| アルコなどの施設の掲示 | 1 |
| 市からの案内 | 1 |

問31　あなたはどのような生涯学習に関する情報を望みますか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| ネット | 1 |
| 現状で良い | 1 |
| 望みようがない | 1 |

（生涯学習の今後の意向）

問32－1　あなたは、今後、どのような生涯学習の機会が増えればよいと思いますか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| 健康でボケ防止のためのこと | 1 |
| 夜バトミントン教室 | 1 |
| 今のところ思いつかない | 1 |
| わからない | 2 |

問33　今後、人々の生涯学習をもっと盛んにしていくために、市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

| 内容 | 件数 |
|---|---|
| 種類を増やして | 1 |
| 応募人員の枠はできるだけ多くとってほしい | 1 |
| 社会人として働きながら資格を取れるために補助金を出す | 1 |
| やらなくていい。学習意欲があればお金を使って民間の機関でやった方が本人のためになる。税金は無駄をなくすべき | 1 |
| 福祉センターや市民センターといった場所（部屋）を提供してほしい | 1 |
| どんな世代の人でも生涯学習できるように、無料で子どもの世話をしてほしい。１つのことにお金がかかり過ぎないように | 1 |
| 環境というより、本人の意志・意欲の問題だと考える | 1 |
| 市民にとって生涯学習が必要なのか。本当に必要なこと、重要なことにポイントを絞った方が項目総花的である。誰が指導するのか | 1 |
| 市に頼ることは必要なし | 1 |

（その他・自由意見）

| 生涯学習 | 件数 |
|---|---|
| 漢字検定の講座があり、清須市内で受験会場があると嬉しい。親と子で一緒に勉強できる講座を希望する | 1 |
| 生涯学習をするのに、老人にとって場所が近くなくて勉強しようにもできない | 1 |
| 生涯学習の講座・プログラムが本当に求められたものか（アンケート）聞き取り調査は良いことと思うが、市が提供するものと一般の人のニーズに何かギャップがあるのではないか。いろいろなプログラムを増すことより、市民教育や市民能力開発として必要と思うものに向けていっては、市民サービスでなく、目標や目的は、有能な「清須市民づくり」ではないか | 1 |
| 学習を継続できる人は、若い時（中・高・大）の成功体験が大きいはず。そういう人は職場でも退職後でも常に自ら学ぼうとするｍｉｎｄがある。それゆえ、大切なのは学校教育で興味を持って進んで学べる精神と経験が必要と思う。三つ子の魂百まで | 1 |
| 生涯学習の内容は多くあり、選択することはできる。それぞれ自由に参加することができれば良いと思うが（日程・曜日・時間・祭日など）利用は難しいと思う。共通券あれば利用日予約して利用したいが。老齢になっても学習することは良いことと思う | 1 |
| 人生を豊かに過ごすために生涯学習は必要だと思うので、市として支援をお願いする | 1 |
| 生涯学習について、回覧板とかに情報を載せてほしい | 1 |
| 生涯学習参加したいが、自転車も乗れない。参加できるような交通の便がほしい | 1 |
| 自分自身の考え方が一番重要。好きなことは積極的に自ら行動することで、ある程度の学習はどこでもいつでもできると思う。施設とか人材に費用を多額に費やすことには問題がある。身近にいる多くの人が、参加しても途中で止める。今の人たちは与えられるのが当たり前と思っているが、自分のことだから、もっとまめにいろいろなことに取り組むべきである | 1 |
| 受講日をもっと増やしてほしい | 1 |
| 外国語の講習について、即必要とされる外国語を学習してほしい。例えば、スペイン語と中国語とどちらが現実的か、考えてもらいたい | 1 |

| 生涯学習 | 件数 |
| --- | --- |
| 生涯学習の意味がわからなかったので、いろいろな情報を得て勉強したいと思う | 1 |
| 旧枇杷島町は高齢者向けの講座があるようだが、旧清須地区にも機会をいただけたらと思う | 1 |
| 子ども向けの生涯学習をもっと増やしてほしい。習いごとをさせたいけど、お金がかかるのでなかなかできない。英会話（外国人講師による）、合気道、テニス、体操、そろばん、習字などがあると嬉しい。子どもにいろいろ体験させてあげたい | 1 |
| 清須市「生涯学習」に参加、学習を受ける機会がなく、今日まで来たが、市の「生涯学習」に力を入れて、充実を図ることに期待している。高齢社会を迎え、ますます充実し、皆がより参加できるよう願う | 1 |
| 今回のアンケート調査の主旨がわからないので、今後広報などで生涯学習のアピールをお願いしたい | 1 |
| 生涯学習の講座の予約人数が少な過ぎるのと、予約開始時間1時間以内に人数が決まったので締め切ったといつも言われるが、不思議で仕方がない。市にあっても参加ができないのが残念である。二次募集など考えていただきたい。（人気のある講座など）狭き門なので、もっと間口を広げていただきたい。参加できないのが残念である | 1 |
| 初めて参加する場合、もともとの地元の方と新しく来た方との差が難しい。新規で活動するグループと今までやってこられたグループとは、最初は別々で行なった方がやりやすいかなと思うし、それだったらやってみようかなと前向きになる。生涯学習ということ自体が、今の時代に向いているのか、必要なのか。根本からの見直しはやっていただきたいし、もっと違ったかたちでも良いのではと思う | 1 |
| 市で企画実施する生涯学習が少な過ぎる | 1 |
| 平成25年度生涯学習だが、市の財政難で講座などいろいろな行事が縮小されていると噂で聞いた。私の妻は専業主婦なので、市で行われている講座など参加したいようだ。以前のように多数の講座に力を入れていただくと有難い。難しい課題とは思うが、よろしくお願いする | 1 |
| 我々高齢者にとって、積極的にどこにでも出かけることは難しい。各地区に出張講座などを考え、参加・受講の機会を増やしてほしい | 1 |
| 生涯学習の意味説明がないため、問24以降は何を質問しているのかわからない | 1 |
| 少子高齢化社会で、生涯学習は高齢者により必要では | 1 |
| 生涯学習に関して、土日にできる英会話やテニス教室等、親子でも参加できる講座が増えるとよい。また、ただ習うだけでなく、その習ったものを発表できる場や大会があれば、皆さん頑張ると思う | 1 |
| 元気で学べることを喜びに変え、これからも頑張っていきたい | 1 |
| とても親切だと感じている。いろいろたくさんの講座を開いてほしい | 1 |
| 若い人の参画を希望している。生涯学習について広報等に表示されても目にとまらず、浸透がいまいちだと思う | 1 |
| 生涯学習に興味をもったり参加をするには、経済的や精神的に安定をしていなければ参画しづらいため、生活が安定し、不安が減るような市政に力をいれてほしい | 1 |

| 生涯学習 | 件数 |
|---|---|
| 今日現在、市の生涯学習は行ってない。１．大学で受付　２．リサイクルクラブで週２～３回出かけている　３．西枇小前の花の育成と清掃で、それなりに忙しい。この他にもっと楽しいことが出てくれば、それはそれとして、やってもみたい | 1 |
| 名古屋市並に活動してほしい | 1 |
| 私は時を刻んで現に挑戦である。先のことはわからないけど、学ぶことは一生のことと思います。私は今 82 歳。よろしくね。以上 | 1 |
| 仕事をしていれば平日は夜間しか時間はない。休日はゆっくりとしたい。定年にでもなれば時間がつくれるのでやりたいと思う。普通の人ならこう思うのではないか | 1 |
| 年齢的に自由で拘束されない | 1 |
| 本人病気入院中のため、本人に聞きながら記入した | 1 |
| 仕事が忙しく、そういうことに興味すら持てない人もたくさんいると思う | 1 |
| その人の自由だと思う | 1 |
| 今回の調査で生涯学習という言葉を知った。現状、仕事が忙しく、地域に対して何も貢献できていないが、小さなきっかけで参加できればと思っている。安心、安全な地域が希望である | 1 |
| 特にない | 4 |

# Ⅴ　調査票

# 男女共同参画及び生涯学習に関する市民意識調査

## 調査ご協力のお願い

日頃から、市行政に格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、清須市におけるさらなる男女共同参画社会の推進を図るため、平成21年に策定した「清須市男女共同参画プラン」の見直しを進めています。

今回の調査は、市民の皆さまの男女共同参画及び生涯学習に関するお考えや実態などを把握し、「清須市男女共同参画プラン」へ反映させるとともに、平成26年度策定予定の「清須市生涯学習推進計画」の基礎資料とすることを目的として実施するものです。今回の調査で得られた結果は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用しません。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

平成２５年７月

清須市長　加藤　静治

### ご記入に際してのお願い

１．アンケートには、封筒のあて名の方ご本人がご回答ください。ご自分でのご回答が困難な方は、ご家族のご協力などによりご回答ください。

２．選択肢がある場合には、あてはまるものの番号を○印で囲んでください。その他を選択された場合は、（　　）内に具体的に記入してください。

３．記入後は、無記名のまま、同封の返送用封筒に入れて、７月１９日（金）までにポストへお入れください。（切手は不要です）

４．この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

清須市教育委員会事務局　教育部生涯学習課
電　話　　：　０５２（４０９）６４７１
ＦＡＸ　　：　０５２（４０９）８８８２
電子メール：　shogaigakushu@city.kiyosu.lg.jp

**男女共同参画社会とは…**
「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」（男女共同参画社会基本法　第二条）のこと。

**生涯学習とは…**
一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習すること。また、その成果を適切に生かすこと。

## １　あなた（回答者）ご自身のことについておたずねします。

| | |
|---|---|
| 問１　性別<br>（○は１つ） | 1　女性　　2　男性 |
| 問２　年齢<br>（○は１つ） | 1　20 代<br>2　30 代<br>3　40 代<br>4　50 代<br>5　60 代<br>6　70 歳以上 |
| 問３　職業<br>（○は１つ） | 1　会社員・公務員（会社役員等を含む）<br>2　派遣・契約社員<br>3　パート・アルバイト<br>4　自営業・農漁業（家族従業者を含む）<br>5　自由業（医師・弁護士・会計士・作家・芸術家など）<br>6　家事専業（主婦・主夫など）<br>7　無職<br>8　学生<br>9　その他（　　　　　　　　） |
| 問４　婚姻状況<br>（○は１つ） | 1　既婚（事実婚を含む）→ 問４－１　共働きをしているか<br>　1　している<br>　2　していない<br>2　別離（離別・死別）<br>3　未婚 |
| 問５　子どもの有無<br>（○は１つ） | 1　同居している子どもがいる<br>2　子どもはいるが同居していない<br>3　子どもはいない |
| 問６　家族構成<br>（○は１つ） | 1　単身世帯（１人）<br>2　１世代世帯（夫婦のみ）<br>3　２世代世帯（親と子）<br>4　３世代世帯（親と子と孫）<br>5　その他（　　　　　　　　） |
| 問７　お住まいの小学校区<br>（○は１つ）<br>※小学校区がわからない方は、（　）に町字名を書いてください。 | 1　西枇杷島小学校区<br>2　古城小学校区<br>3　清洲小学校区<br>4　清洲東小学校区<br>5　新川小学校区<br>6　星の宮小学校区<br>7　桃栄小学校区<br>8　春日小学校区<br>9　不明（町字名　　　　　　　） |

## ２ 男女の平等感についておたずねします。

問８　あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
（Ａ～Ｈのそれぞれについて、○は１つずつ）

| | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等である | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | わからない |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ａ 家庭生活 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| Ｂ 職場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| Ｃ 学校教育の場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| Ｄ 地域活動の場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| Ｅ 政治の場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| Ｆ 法律や制度の上 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| Ｇ 社会通念・慣習・しきたりなど | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| Ｈ 社会全体として | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

## ３ 仕事と家庭生活、地域生活についておたずねします。

問９　あなたは、以下のような仕事や家庭生活、地域生活などに関する考え方について
どう思いますか。（Ａ～Ｂのそれぞれについて、○は１つずつ）

| | 賛成 | どちらかといえば賛成 | どちらかといえば反対 | 反対 | どちらともいえない・わからない |
|---|---|---|---|---|---|
| Ａ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| Ｂ 男性はもっと地域活動や家庭生活における活動に参画する必要がある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 10　あなたは、地域活動に参加していますか。（○は１つ）

1　している　　　　2　していない

問 10－１　地域活動の中で、男女が不平等であると感じることはありますか。（○はいくつでも）

1　女性のみがお茶くみや片づけなどの雑務をしている
2　仕事を持つ男性の地域活動への参画が少ない
3　役職者には男性が就き、女性は補助的な役割であることが多い
4　女性が役職に就きたがらない
5　女性が発言しづらい、表に出づらい雰囲気がある
6　その他（　　　　　　　　　　　　　　　）
7　わからない

問 10－２　地域活動に参加していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1　自分に適した活動がない
2　経済的な余裕がない
3　時間に余裕がない
4　一緒に参加する仲間がいない
5　家族の協力がない
6　人間関係がわずらわしい
7　健康や体力に自信がない
8　地域活動に関心がない
9　特に理由がない
10　その他（　　　　　　　　　　）

問 11　あなたの生活の中で、実際に優先しているものは次のどれですか。（○はいくつでも）

1　仕事
2　家庭生活
3　地域の生活
4　個人の生活
5　その他（　　　　　　　　　　）
6　わからない

問 12　あなたの生活の中で、理想として優先したいものは次のどれですか。（○はいくつでも）

1　仕事
2　家庭生活
3　地域の生活
4　個人の生活
5　その他（　　　　　　　　　　）
6　わからない

問 13　次にあげる、仕事と家庭生活を両立するための制度を知っていますか。
（Ａ～Ｄのそれぞれについて、○は１つずつ）

| | 内容を知っている | 内容は知らないが制度名は聞いたことがある | 知らない |
|---|---|---|---|
| Ａ 育児休業制度 | 1 | 2 | 3 |
| Ｂ 子の看護休暇制度 | 1 | 2 | 3 |
| Ｃ 介護休業制度 | 1 | 2 | 3 |
| Ｄ 介護休暇制度 | 1 | 2 | 3 |

**＜問3で「１」～「５」と答えた方（現在働いている方）におたずねします＞**

問 14　あなたは、職場で以下のような制度を使って休暇等を取ったことがありますか。
（Ａ～Ｄのそれぞれについて、○は１つずつ）

| | 取ったことがある | 取りたかったが、取ったことはない | 取る希望がなく、取ったことはない | 今まで必要となったことがない |
|---|---|---|---|---|
| Ａ 育児休業（育児のために一定期間休業できる制度） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| Ｂ 子の看護休暇（病気等の子どもを看護するための年５日程度の休暇） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| Ｃ 介護休業（介護のために一定期間休業できる制度） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| Ｄ 介護休暇（短期の介護のための年５日程度の休暇） | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 15　あなたが、平日に家事・育児・介護などに携わる平均的な時間はどのくらいですか。
（○は１つ）

1　まったく関わっていない
2　30 分未満
3　30 分～１時間未満
4　１時間～３時間未満
5　３時間～５時間未満
6　５時間以上

## 4 女性の社会進出についておたずねします。

**問 16　女性が職業（仕事）をもつことについて、どう思いますか。（○は１つ）**

1 女性は職業（仕事）をもたない方がよい
2 結婚するまでは、職業（仕事）をもつ方がよい
3 子どもができるまでは、職業（仕事）をもつ方がよい
4 子どもができたらやめ、その後、子どもが大きくなったら再びもつ方がよい
5 子どもができても、ずっと職業（仕事）を続ける方がよい
6 その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
7 わからない

**問 17　女性が増える方がよいと思う職業や役職は何ですか。（○はいくつでも）**

1 企業の管理職
2 国家公務員、地方公務員の管理職
3 小学校、中学校、高等学校の管理職
4 弁護士、医師などの専門職
5 大学、企業などの研究者
6 自治会、ＰＴＡなどの役員
7 都道府県、市町村の首長
8 国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員
9 その他（　　　　　　　　　　　）
10 特にない
11 わからない

**問 18　女性が安心して働き続ける環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）**

1 夫や家族が理解し協力する
2 育児・介護休業制度の整備・定着を図る
3 女性の能力開発・人材育成の機会を充実する
4 男女ともに育児・介護休業を取得しやすい職場環境をつくる
5 給料や仕事内容、昇進などの男女差を解消する
6 職業（仕事）と家庭の両立に職場が理解し協力する
7 子育て支援サービスや、介護サービスなどの充実を図る
8 女性の活動を支援するネットワークを整備する
9 女性労働者の相談窓口を設ける
10 その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

## 5　配偶者や恋人からの暴力についておたずねします。

**問 19　あなたは、ＤＶに関する次のことについて知っていますか。（○はいくつでも）**

1　配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）」と呼ぶこと
2　ＤＶには、殴る、蹴るなど身体的暴力だけでなく、精神的・性的暴力も含まれること
3　ＤＶ被害者を支援するために、法律（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）が制定されていること
4　県が設置している配偶者暴力相談支援センターにおいて、相談や被害者の一時保護を行っていること
5　ＤＶを受けている者を発見した者は、配偶者暴力相談支援センターまたは警察に通報するように努めなければならないこと
6　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
7　何も知らない

**問 20　あなたは、ＤＶについて相談できる窓口があることを知っていますか。（○は１つ）**

1　知っている　　　　　　　　　　　　　2　知らない

**問 20－１　相談できる窓口についてどのようなところを知っていますか。（○はいくつでも）**

1　配偶者暴力相談支援センター（愛知県女性相談センター）
2　ウィルあいち（愛知県女性総合センター）
3　清須市の相談窓口
4　警察署
5　民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）
6　法務局、人権擁護委員、法テラス
7　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
8　何も知らない

問 21　あなたは、配偶者や恋人からの暴力※１の経験がありますか。（○は１つ）

1 ある　　2 ない

●●● **用語解説** ●●●

※１ 配偶者や恋人からの暴力

身体的暴力（なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど）、精神的暴力（大声で怒鳴る、長期間無視する、ののしる、脅迫するなど）や性的暴力（性行為を強要する、嫌がっているのにポルノ雑誌やビデオを見せる、避妊に協力しない、中絶を強要するなど）、経済的暴力（生活費を渡さない、仕事をして収入を得ることを制限する、相談なく無計画な借金を重ねるなど）、社会的暴力（外出や親族・友人との付き合いを制限する、電話やメールを細かくチェックするなど）などの暴力のこと。

問 21－１　暴力を受けた場合に誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（○はいくつでも）

1 愛知県の相談窓口（配偶者暴力相談支援センターやウィルあいちなど）
2 清須市の相談窓口
3 警察署
4 民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）
5 法務局、人権擁護委員、法テラス
6 医療関係者（医師、看護師など）
7 家族や親戚などの身内
8 友人・知人
9 誰にも相談しなかった
10 その他（　　　　　　　　　　）

問 21－２　相談しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 誰（どこ）に相談してよいのかわからなかったから
2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3 相談しても無駄と思ったから
4 相談したことがわかると仕返しなどがあるから
5 自分さえがまんすればよいから
6 世間体が悪いと思ったから
7 他人を巻き込みたくなかったから
8 自分にも悪いところがあったから
9 相談するほどのことでもなかったから
10 その他（　　　　　　　　　　）

## ６ 男女共同参画全般についておたずねします。

問 22 次にあげる男女共同参画社会に関する言葉のうち、見たり聞いたりしたことがあるものはありますか。（○はいくつでも）

1 男女共同参画社会基本法
2 女子差別撤廃条約
3 男女雇用機会均等法
4 ポジティブ・アクション※２
5 ジェンダー※３
6 男女雇用機会均等法
7 ワーク・ライフ・バランス※４
8 清須市男女共同参画プラン
9 見たり聞いたりしたものはない

●●● **用語解説** ●●●

**※２ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）**

様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものであり、個々の状況に応じて実施していくもの。

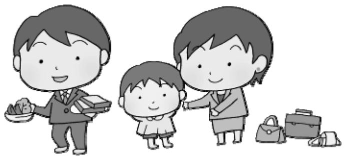
（例：国の審議会等委員への女性の登用のための目標の設定や、女性国家公務員の採用・登用の促進等）

**※３ ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）**

「社会的・文化的に形成された性別」のこと。生まれついての生物学的な性別（セックス／sex）のほかに、社会によってつくり上げられた「男性像」「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー／gender）という。

**※４ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）**

仕事と家庭生活、地域生活との調和（バランス）が取れて、誰もが生き生きと生活している状態を指す。



問 23　あなたは、男女共同参画社会を実現するために、清須市では今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○は３つまで）

1　審議会や各種委員会などに女性を積極的に登用する
2　企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
3　学校において男女平等教育を浸透させる
4　子育て支援サービスや介護サービスなどの充実を図る
5　職場における男女平等について企業等に働きかける
6　子育てや介護中であっても、仕事が続けられるよう支援する
7　子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
8　労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
9　女性の能力開発や人材育成などの講座を充実する
10　男性の家事・育児・介護等への参加を進めるための講座や啓発を充実する
11　男女共同参画に関する情報提供や相談などの場を充実する
12　広報紙やホームページなどで男女共同参画に関するＰＲを行う
13　男女共同参画条例を制定する
14　男女共同センターの設置など、男女共同参画の活動拠点を充実する
15　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
16　特にない
17　わからない

*※ここからは、生涯学習のことについておたずねします。*

## 7　生涯学習の現状についておたずねします。

問 24　あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。（○は１つ）

1　聞いたことがあり、内容も理解している
2　聞いたことはあるが、内容はよくわからない
3　聞いたことがない

問 25　あなたは、この１年くらいの間に、次に示す生涯学習をしたことがありますか。（○はいくつでも）

1 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）
2 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）
3 社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境問題など）
4 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
5 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
6 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）
7 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
8 国際理解・国際交流に関すること
9 パソコン・インターネットに関すること
10 地域活動・ボランティア活動やそのために必要な知識・技能
11 自然体験や生活体験などの体験活動
12 就労体験
13 人権・男女共同参画に関すること
14 福祉に関すること
15 まちづくり・地域づくりに関すること
16 学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の正規課程での学習
17 その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

→ 1〜17：問 25－２、問 25－３へ

18 （この１年くらい）していない → 問 25－1へ

問 25－１　生涯学習をしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 仕事が忙しくて時間がない
2 家事・育児などが忙しくて時間がない
3 費用がかかる
4 必要な情報（内容・時間・場所・費用など）がなかなか入手できない
5 一緒に学習や活動をする仲間がいない
6 身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない
7 きっかけがつかめない
8 その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
9 特に必要がない
10 特に理由はない
11 わからない

問25－２　どのような場所や形態で生涯学習をしたことがありますか。
（○はいくつでも）

1 カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育
2 公民館などにおける市などが主催する講座や教室
3 学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の公開講座や教室
4 学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の正規課程
5 職場の教育、研修
6 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動
7 図書館、博物館、美術館
8 ラジオやテレビ
9 パソコンやインターネットなど（情報端末、ゲーム機器などの活用を含む）
10 自宅での学習活動（書籍など）
11 その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
12 わからない

問25－３　生涯学習を行うにあたってお困りの点は何ですか。（○はいくつでも）

1 仕事が忙しくて時間がない
2 家事・育児などが忙しくて時間がない
3 費用がかかる
4 必要な情報（内容・時間・場所・費用など）がなかなか入手できない
5 一緒に学習や活動をする仲間がいない
6 身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない
7 その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
8 特に困っている点はない
9 わからない

問26　次のＡ～Ｎにあげられている市の生涯学習関連施設の中で、知っているもの、よく利用するものはどれですか。（○はいくつでも）

| | 知っている<br>（○はいくつでも） | よく利用する<br>（○はいくつでも） |
|---|---|---|
| Ａ 清洲市民センター | 1 | 1 |
| Ｂ 春日公民館 | 2 | 2 |
| Ｃ にしびさわやかプラザ | 3 | 3 |
| Ｄ にしび創造センター | 4 | 4 |
| Ｅ 清須市立図書館 | 5 | 5 |
| Ｆ はるひ美術館 | 6 | 6 |
| Ｇ 西枇杷島問屋記念館 | 7 | 7 |
| Ｈ 新川体育館 | 8 | 8 |

| | 知っている<br>（○はいくつでも） | よく利用する<br>（○はいくつでも） |
|---|---|---|
| Ｉ　カルチバ新川 | 9 | 9 |
| Ｊ　アルコ清洲 | 10 | 10 |
| Ｋ　春日Ｂ＆Ｇ体育館 | 11 | 11 |
| Ｌ　屋外スポーツ施設（テニス、野球場など） | 12 | 12 |
| Ｍ　小・中学校（学校開放など） | 13 | 13 |
| Ｎ　その他（　　　　　　　　　　　　） | 14 | 14 |

問 27　市の生涯学習関連施設を利用する上での問題点は何ですか。（○はいくつでも）

1　使える時間帯が希望と合わない
2　使える日にちや曜日が希望と合わない
3　予約が取りにくい
4　利用に関する情報が乏しい
5　施設の場所が利用しづらい
6　料金が高い
7　サービスが悪い
8　希望する講座や教室がない
9　希望する展示・蔵書・資料がない
10　必要がない
11　その他（　　　　　　　　　　　　）

8　生涯学習の成果の生かし方についておたずねします。

**＜問 25 で「１」～「17」と答えた方（１年間で生涯学習をしたことがある方）におたずねします＞**

問 28　あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。（○はいくつでも）

1　仕事や就職の上で生かしている
2　資格の取得に生かしている
3　家庭・日常の生活に生かしている
4　地域活動・ボランティア活動に生かしている
5　その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう努めている
6　他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている
7　自分の人生がより豊かになっている
8　自分の健康の維持・増進に役立っている
9　学業、学校生活の上で生かしている
10　その他（　　　　　　　　　　　　）
11　わからない
12　生かしていない

**問 29　あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために生かすべきだと思いますか。（○は１つ）**

1 生かすべきである
2 どちらかといえば、生かすべきである
3 どちらかといえば、生かす必要はない
4 生かす必要はない
5 わからない

（1・2と回答した方は問29－1へ）

**問 29－１　生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような場所・機会を通じて生かすべきだと思いますか。（○はいくつでも）**

1　家庭生活を通じて
2　学校支援活動を通じて
3　地域活動を通じて
4　仕事・職場を通じて
5　趣味・サークル活動などを通じて
6　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

9　生涯学習の情報についておたずねします。

**問 30　あなたは生涯学習に関する情報を、どのように得ていますか。（○はいくつでも）**

1　パンフレット・チラシ・ポスター
2　新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
3　市や県の広報紙
4　インターネット（パソコン）
5　インターネット（携帯電話）
6　町会・自治会の回覧
7　市のホームページ
8　友人・知人からの紹介
9　特にない
10　その他（　　　　　　　　　　　　）
11　得る手段がわからない

**問 31　あなたはどのような生涯学習に関する情報を望みますか。（○はいくつでも）**

1　講座・教室の情報
2　イベント情報（講演・展覧会など）
3　施設の情報
4　学習教材・プログラムの情報
5　講師や指導者の情報
6　地域活動・ボランティアの情報
7　大学など教育機関の情報
8　学習グループ・団体などの情報
9　情報を発信している主体の情報
10　資格取得の情報
11　民間の学習情報
12　特にない
13　その他（　　　　　　　　　　　　）
14　わからない

## 10　生涯学習の今後の意向についておたずねします。

問32　あなたは、今後、生涯学習をしてみたいと思いますか。すでに生涯学習をしている方は、今後もしたいと思いますか。（○は１つ）

1　してみたいと思う
2　どちらかといえば、してみたいと思う
3　どちらかといえば、してみたいと思わない
4　してみたいと思わない
5　わからない

（1・2の方）→

問 32－１　あなたは、今後、どのような生涯学習の機会が増えればよいと思いますか。（○はいくつでも）

1　趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）
2　教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）
3　社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境問題など）
4　健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
5　家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
6　育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）
7　職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
8　国際理解・国際交流に関すること
9　パソコン・インターネットに関すること
10　地域活動・ボランティア活動やそのために必要な知識・技能
11　自然体験や生活体験などの体験活動
12　就労体験
13　人権・男女共同参画に関すること
14　福祉に関すること
15　まちづくり・地域づくりに関すること
16　学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の正規課程での学習
17　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 33　今後、人々の生涯学習をもっと盛んにしていくために、市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は３つまで）

1 生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実
（講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など）
2 生涯学習を始める人への支援の充実（地域デビュー歓迎会、サークル体験など）
3 生涯学習に関する専門職員の充実（社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など）
4 生涯学習を支援する地域人材の育成（学習相談や学習機会のコーディネーターなど）
5 情報の一元化など、生涯学習に関する情報提供の充実
6 学校教育を支援する地域人材の育成（部活動など外部指導員・学力向上支援講師など）
7 住民や学習団体のニーズや満足度などの把握と施策への反映
8 地域活動団体、青少年団体などのボランティア活動の活性化や活動の支援
9 生涯学習を通じて身につけた成果やその成果を生かした活動に対する社会的評価の促進（表彰する、活動歴を履歴書に記載するなど）
10 知識や技能を形として表せるような資格・検定などの充実
11 子ども・若者に向けたキャリア教育※５の充実
12 学校の正規課程での学習において、地域や社会を支援する活動を取り入れる
13 特にない
14 その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
15 わからない

●●● ***用 語 解 説*** ●●●

※５ キャリア教育
将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するため、一人ひとりの就労観・職業観を育てる教育

## その他・自由意見

男女共同参画・生涯学習に関することで何かご意見がありましたら、自由にお書きください。

清須市　生涯学習に関する市民意識調査
【結果報告書】

発行：清須市　生涯学習課
〒452-0942
愛知県清須市清洲弁天 96 番地の 1
TEL　052-409-6471
FAX　052-409-8882

発行年月日　：　平成 25 年 12 月